パソコン活用編

設定ユー	- ティリティの活用 ・・・・・・・	2
パソコン	ィでの設定画面・・・・・・・・・1	2
113113	らな通信機能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30
参考情報		

イージーウィザードが
利用できないときは・・・・・・46
ATコマンド ・・・・・138
ATコマンドの入力方法 ・・・・・・138
コマンド形式 ・・・・・・・・・・140
リザルトコード ・・・・・・・・・140
コマンドモードと
データ通信モード ・・・・・・141
ATコマンド一覧 ・・・・・・・・142
リザルトコード一覧 ・・・・・・・・164
設定記入シート ・・・・・165

0



いろいろな情報を表示するには

通信料金、データ通信の履歴、バージョン情報を確認したり、設定ユーティリティのヘ ルプ画面を表示することができます。

通信料金を確認する

直前の通信料金、累積の通信料金は、メニュー画面で[料金情報]をクリックすると確認することがで きます。

料金は、通信終了時にINSネット64から通知される料金情報を利用しています。相手先によっては、 INSネット64から料金情報が通知されないため、料金を表示できない場合があります。



累積料金をゼロに戻すときにクリックします。確認のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックします。

💵 お知らせ

料金は目安ですので、請求書の額と一致しないことがあります。また、1円未満は切り捨てられます。 表示される料金は、最大99999999999日までです。 内線転送しても、最初に発信したアナログポートに料金が加算されます。 INSメイトFT80btに電池が入っていない状態で電源アダプタを抜くと、直前の料金情報と累積料金情報 は消去されます。

データ通信の履歴を確認する

最新の通信開始日時、終了日時、相手先番号は、メニュー画面で[データ通信最新履歴]をクリックす ると確認することができます。

🧱 データ通信履歴 🛛 🖂
- データ通信最新履歴
通信開始日時 12/25 09:51
通信終了日時 12/25 10:35
相手先番号
0312345678/1234
詳細履歴
「戻る」

[詳細履歴]をクリックすると、データ通信詳細履歴画面が表示されます。この画面では、接続したパソ コンでの最新10件分の通信履歴を確認することができます。 表示例



1 生成源の値と意味

値	值 生成源		生成源
0 ユーザ		4 リモートユーザ収容公衆網(相手側)	
1 ローカルユーザ収容私設網(自分側)		5	リモートユーザ収容私設網(相手側)
2	ローカルユーザ収容公衆網(自分側)	7	国際網
3	中継網	А	インタワーキング先の網

リティの活用

設定画面 の

通い 這る機い 能ろな

でザイ

いろいろな情報を表示するには

(前ページの続きです)

2 切断理由の値と意味

値	切断理由	値	切断理由
1	欠番	57	伝達能力不許可
2	指定中継網へのルートなし	58	現在利用不可伝達能力
3	相手へのルートなし	63	その他のサービスまたはオプションの利用 不可クラス
6	チャネル利用不可	65	未提供伝達能力指定
7	呼が設定済みのチャネルへ着呼	66	未提供チャネル種別指定
16	正常切断	69	未提供ファシリティ要求
17	着ユーザビジー	70	制限ディジタル情報転送能力のみ可能
18	着ユーザレスポンスなし	79	その他のサービスまたはオプションの未提 供クラス
19	相手ユーザ応答なし(呼出中)	81	無効呼番号値使用
20	加入者不在	82	無効チャネル番号使用
21	通信拒否	83	指定された中断呼識別番号未使用
22	相手加入者番号変更	84	中断呼識別番号使用中
26	選択されなかったユーザの切断復旧	85	中断呼なし
27	着側インタフェース起動不可	86	指定中断呼切断復旧済み
28	無効番号フォーマット(不完全番号)	87	ユーザはCUGメンバではない
29	ファシリティ拒否	88	端末属性不一致
30	状態問い合わせへの応答	91	無効中断網選択
31	その他の正常クラス	95	その他の無効メッセージクラス
34	利用可回線 / チャネルなし	96	必須情報要素不足
38	網故障	97	メッセージ種別未定義または未提供
41	一時的失敗	98	呼状態とメッセージ不一致またはメッセー ジ種別未定義または未提供
42	交換機輻輳	99	情報要素未定義または未提供
43	アクセス情報廃棄	100	情報要素内容無効
44	要求回線 / チャネル利用不可	101	呼状態とメッセージ不一致
47	その他のリソース使用不可クラス	102	タイマ満了による回復
49	QOS利用不可	111	その他の手順誤りクラス
50	要求ファシリティ未契約	127	その他のインタワーキングクラス

💵) お知らせ

INSメイトFT80btに乾電池が入っていない状態で電源アダプタを抜くと、データ通信最新・詳細履歴は 消去されます。

バージョンを確認する

メニュー画面の「バージョン情報」をクリックすると、INSメイトFT80btのバージョン、設定ユーティ リティのバージョンを確認することができます。



、ルプを表示する

INSメイトFT80btの使いかたを説明したヘルプを見ることができます。

Windows®をご利用の場合

メニュー画面の「ヘルプ1をクリックすると、INSメイトFT80btのヘルプ画面が表示されます。



Macintoshをご利用の場合

ント

[INSメイトFT80bt]フォルダの中にヘルプファイルがあります。ヘルプファイルのアイコンをダブ ルクリックすると、ヘルプが表示されます。

ヘルプを表示するには、Adobe[®] Acrobat[®] Readerが必要です。あらかじめCD-ROMからインストー ルしてください。Adobe[®] Acrobat[®] Readerのインストール方法については、「専用CD-ROMの使 い方」を参照してください。

Windows®でスタートメニューからヘルプを表示するには 「スタートヿボタンをクリックし、「プログラムヿ-「INSメイトFT80bt ユーティリティヿ-「INSメイト FT80bt 設定ユーティリティ ヘルプ1をクリックします。

設定画面 の

通い 信ろ 機い 能ろな

でザイ

てきないときは

ATコマンド

設定記入シート

お買い求め時の設定に戻すには

メニュー画面の[初期化]をクリックすると、INSメイトFT80btの設定をお買い求 め時の状態に戻すことができます。 初期化を行っても、以下の設定内容はそのまま残ります。 ・短縮ダイヤル

- ・発信者番号
- ・i・ナンバー電話番号
- ・各ポートの着信する番号
- ・各ポートのサブアドレス
- ・モデムダイヤルイン用契約者回線番号
- ・ホットライン番号
- ・疑似なりわけ番号
- ・着信転送先電話番号
- ·着信転送元電話番号
- ・着信転送元サブアドレス
- ・着信拒否電話番号
- ・MUX発信アドレス
- ・通信履歴
- ・カレンダ
- 1 メニュー画面の [初期化]をクリッ クする。

INSメイトFT80b + 過度ホート ^{poln} ドナンパー誌定
通信ボート COMI ドナンバー設定
TEL1术一ト設定
データ通信最新履歴 TEL2ボート設定
料金值報 TEL1・2ポート 共通設定
保存 データポート設定
読込 バージョンアップ
初期化 カレンダ設定 パージョン情報 終了 キャンセル ヘルブ

×

2[OK]をクリックする。

設定内容が初期化され、お買い求め時の状 態に戻ります。 初期化
 INSメイトFT80btの設定内容を初期値に戻します。
 ただし、以下の設定は初期化されません。
 ・短縮ダイヤル
 ・発信者番号
 ・トナンバー電話番号
 ・各ボートの者信する番号
 ・各ボートのサブアドレス
 ・モデムダイヤルイン用契約者回線番号

ÖΚ

キャンセル



FT80btアダプタからの初期化は行わないで ください。動作しなくなることがあります。

設定ユーティリ ティの活用

INS**メイト**FT80btの バージョンアップを行うには

設定ユーティリティを使って、INSメイトFT80btのバージョンアップを行うこと ができます。 バージョンアップソフトウェアは、当社の通信機器商品のご案内ホームページに

アップロードしていく予定です。ダウンロード方法など、詳しくは以下のホーム ページを参照してください。

当社のホームページ http://www.ntt-east.co.jp/ced/

http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

Windows[®] 98の場合を例に説明します。

1 メニュー画面の [バージョンアッ プ] をクリックする。



(次ページへ続きます)

ワンポイント

バージョンアップにかかる時間は

INSメイトFT80btとパソコン間の通信速度や、お使いのパソコンの能力によって異なりますが、約5~15 分で終了します。通信速度が115.2 kbit/sの場合は、約13分です。

バージョンアップに失敗したときは

バージョンアップ失敗の画面が表示されますので、いったん電源アダプタおよび乾電池を抜いてください。 RS-232CケーブルまたはUSBケーブルが正しく接続されていることを確認して、電源アダプタを差し込み、 乾電池を入れ直して、もう一度、バージョンアップを実行してください。

5))))) お知らせ

バージョンアップを正常に終了させないと、INSメイトFT80btが動作できなくなります。 バージョンアップを実行しても、バージョンアップ前の設定は保存されます。ただし、以下の内容は保 存されません。

- カレンダ設定
- データ通信履歴
 累積料全情報

直前の料金情報

STOP お願い

バージョンアップ中は、INSメイトFT80btの電源を切らないでください。故障の原因となります。 Bluetooth™でのバージョンアップはできません。RS-232CポートまたはUSBポートからバージョン アップを行ってください。

Mac OS Xをご利用の場合は、設定ユーティリティが利用できないので、バージョンアップはできませ ん。バージョンアップを行う場合は、他のパソコンから行ってください。

リティの活用

設定 画面 の

通い

信ろ機い

能ろ な

でザイ

てきないときは

INSメイトFT80btの 設定ユーティリ バージョンアップを行うには

(前ページの続きです) [参照]をクリックする。 業パージョンアップ X 本装置のバージョンアップを行う場合、参照ボタンをクリック してバージョンアップファイルを選択してください。 バージョンアップファイル 参昭 キャンセル 実行 ヘルブ 3[ファイルの場所] で、バージョン バージョンアップファイルの選択 ? × ファイルの場所の: 3 デスクトッフ • • 0 • • アップファイルを保存したフォルダ 1月マイ エンピュータ 合マイトドキュメント 豊ネットワーク エンピュータ を選択する。 FT80btfrmv110.bin ファイル名(N): 盟(0) ファイルの種類(工): *.BIN • キャンセル **4** バージョンアップファイルを選択し て[開く]をクリックする。 バージョンアップファイルの選択 • • Ø • • ファイルの場所(Φ: 3 デスクトッフ ■マイコンピュータ 合マイトドキュメント ・ ネットワーク エンビュータ FT80btfrmv110.bir ファイル名(N): Г (1)₩Ŵ ファイルの種類(工): *.BIN キャンセル • 「[実行]をクリックする。 濃パージョンアップ X 本装置のバージョンアップを行う場合、参照ボタンをクリック してバージョンアップファイルを選択してください。



ティの活用





設定値をパソコンに保存するには

INSメイトFT80btに設定した設定値をパソコンに保存することができます。

設定値をパソコンに保存する

1 メニュー画面の [保存]をクリック する。



2 ファイル名を入力し、[保存]をク リックする。

設定値を記録したファイルがパソコンに保 存されます。 Mac OSの場合は、「ファイル名」の部分が 「Save File As:」と表示されます。





ファイルを保存するフォルダについて 設定値を記録したファイルを保存する場所(フォルダ)は変更することができます。お買い求め時の設定は、 Windows[®]の場合、OSがインストールされているドライブの[Program Files] - [INSメイトFT80btユー ティリティ] - [Data]です。 Mac OSの場合、[Macintosh HD] - [INSメイトFT80bt] - [DATA]です。

設定値をパソコンから読み出す

┩ メニュー画面の [読込] をクリック する。



2 ファイル名を指定し、[開く]をク リックする。 パソコンに保存していた設定値を設定ユー ティリティに読み込みます。

ĸ			? ×
ファイルの場所①:	🔄 Data	- E Ø	
FT80btBAK.tdt			
	\geq		
	V V		
	(1)		M
] ファイルタ(N):	ET80btBAK tdt		BR((0)
ファイルの種類(T)	TResident (1. (K tab)		1941 V 122
2717/02/星/8612/-	astelle/91/2 (*.tot/		**700

3 INSメイトFT80btに設定値を保存するには、メニュー画面で[終了]をク リックしたのち、「OK] をクリックします。(←取扱説明書P69)

メニュー画面で[キャンセル]をクリックして設定ユーティリティを終了すると、設定内容がINSメイト FT80btに保存されず、データ通信や停電、またはINSメイトFT80btの電源アダプタを抜き差しすること などにより、設定がもとに戻ってしまうことがあります。

設定画面 の

通にる機

能ろな

でザイ

てきないときは

ATコマンド



i・ナンバー設定画面

メニュー画面で[i・ナンバー設定]をクリックすると表示される画面です。i・ナン バーをご利用になる場合に設定します。

寝ドナンバー設定										×
INSネット64の トナン	INSネット64のトナンバーサービスをご利用になる場合に設定します。									
-・・ナンバー										
© 使用しない C 使用する	※発信者番号 にした場合、。 ※「メッセージ 号を同じにして	1通知を 必ず各才 あり情報 てくださし	「通知し ペートの引 順通知」	ない」、「 単信者者 を設定し	通知す 時考を入 た場合、	もに設施 力してくた 発信時期	記、i・t Ealla こ通知T	-ンバー: ける番号	を「使用 と著信:	する」 する番
トナンバー電話番号	トナンパ	(一着信	識定			発信术	ート番号	指定		
トナンバー情報1	TEL -	-TEL-	2320	USB	Blue tooth	TEL	TEL -	232C	USB	Blue tooth
	N	9	2	9	•	0	0	C	0	0
・ナンバー情報2	<u> </u>				V	¢	œ	¢	œ	¢
i・ナンバー情報3										
I	N		2	4		0	0	0	0	0
					登録		キャンセ	91]	~)	レブ

下線_は、お買い求め時の設定です。

設定項目	説明	設定内容
i・ナンバー (《 取扱説明書P172)	i・ナンバーを利用する とき、「使用する」を選 択します。	<u>使用しない</u> 使用する
i・ナンパー電話番号 (◆ 取扱説明書P172)	i・ナンパーの電話番号 を入力します。	 i・ナンバー情報1: 対応した電話番号 (最大20桁) i・ナンバー情報2: 対応した電話番号 (最大20桁) i・ナンバー情報3: 対応した電話番号 (最大20桁)
i・ナンバー着信設定 (<i>←</i> 取扱説明書P172)	それぞれの番号に着信が あったとき、どのポート を呼び出すかを選択しま す。	i・ナンバー情報1: <u>TEL1</u> TEL2 <u>RS-232C</u> <u>USB</u> <u>Bluetooth</u> i・ナンバー情報2: TEL1 <u>TEL2</u> <u>RS-232C</u> <u>USB</u> <u>Bluetooth</u> i・ナンバー情報3: TEL1 TEL2 RS-232C USB <u>Bluetooth</u>
発信ポート番号指定 (<i>■</i> 取扱説明書P172)	それぞれのポートから 発信するとき、どの番 号を通知するかを選択 します。	i・ナンバー情報1: <u>TEL1</u> TEL2 <u>RS-232C</u> <u>USB</u> <u>Bluetooth</u> i・ナンバー情報2: TEL1 <u>TEL2</u> RS-232C USB <u>Bluetooth</u> i・ナンバー情報3: TEL1 TEL2 RS-232C USB <u>Bluetooth</u>



i・ナンバーを「使用する」に設定した場合は、グローバル着信選択の設定は無効です。

TEL1ポート設定画面/TEL2ポート 設定画面

メニュー画面で「TEL1ポート設定]をクリックするとTEL1ポート設定画面、 「TEL2ポート設定]をクリックするとTEL2ポート設定画面が表示されます。 TEL1ポート、TEL2ポートそれぞれの画面で設定を行います。 例はTEL1ポート設定画面です。

発信・着信1

[™] 塗 TEL1ポート設定 TEL1ポートに接続した電話機・ファクス・モデムなどの発信、著信をより便利にするための設定です。
発信・著信1 】発信・著信2 キャッチホン・番号通知 なりわけ その他 短縮ダイヤル 著信拒否
発信者番号 第信者番号通知 著信する番号 0 デ 発信者番号通知しるい 1 ア 発信者番号通知しるい 2 ア 形名本外64申込内容に従う 3 サブアドレスなし著信選択 4 ア デ信する 5 ア 完信する
7 ※「シッセージあり情報励知」を設定した 場合、発信時に通知する番号と著信す クリア ジローバル者信選択 ・ 着信する ・ 着信する ・ 着信しない 登録 ● 日本で少ない。 へいば

		下線は、お買い求め時の設定です。	でサイ きーー なドジ
設定項目	説明	設定内容	と利ウ
発信者番号 (☞ 取扱説明書P161)	発信するときに通知する電話番号を入 力します。	電話番号(最大32桁)	は
着信する番号 (≪取扱説明書P180)	このアナログボートに着信する電話番 号を入力します。1つのアナログポー トに最大8個の電話番号を設定できま す。	電話番号(最大32桁)	A T T N
サブアドレス (☞ 取扱説明書P186)	このアナログポートに設定するサブア ドレスを入力します。	サブアドレス(最大19桁)	シド
発信者番号通知 (✔取扱説明書P161)	このアナログポートから発信すると き、発信者番号を通知するかどうかを 設定します。	発信者番号通知する 発信者番号通知しない INSネット64申込内容に従う	設定
サブアドレスなし着信選 択(≪ 取扱説明書P186)	サブアドレスが指定されていない着信 を受けるかどうかを設定します。	<u>着信する</u> 着信しない	記 入 シ
グローバル着信選択 (≪ 取扱説明書P180)	INSネット64のグローバル着信の利 用を契約している場合、グローバル着 信選択機能を設定します。	<u>着信する</u> 着信しない	۲ ۲



着信する番号をすべて消去するには 着信する番号欄の下にある[クリア]をクリックすると、電話番号をすべて消去することができます。

(次ページへ続きます)

13

リティ の活用

ソコンでの Ť.

通信機能



TEL1ポート設定画面/TEL2ポート 設定画面

(前ページの続きです)



(の)) お知らせ

発信者番号通知を「通知しない」または「通知する」に設定し、i・ナンバーを「使用する」に設定した 場合は、必ず発信者番号(~取扱説明書P161)を正しく設定してください。 サプアドレスなし着信選択を「着信しない」に設定すると、サブアドレスのない着信(相手の方が契約) 者回線番号、i・ナンバー電話番号または追加番号のみで発信)は受けられなくなります。



発信者番号を正しく設定しない場合、相手の方に発信者番号(< 取扱説明書P161)が正しく通知され ません。また、INSネット64サービスが利用できない場合がありますので、発信者番号を正しく設定し てください。

リティ の活用

設定画面 の

通信機能

発信・着信2

 ※ TEL1ホート設定 TEL1ホートは接続した電話様・ファ 発信・著信1 発信・著信2 キャ 接続機器 「 接続しない C 電話機1 C アクス(打き電話機・モデ・ 用の設定がされている機器 C アクス(力きで電話機・モデ・ の支方がされている機器 C アクス(ファクス)専用の影 C や携帯電話機等との通信 	クス・モデムなどの発信、着信をより便利 ッチホン・番号通知 なりわけ その他 いっしモード対応電話機 がなれるため、G4ファクスやファクス専 起の通道はできません。。 になかまれたか。NSネット64用電話機 すでざません。。	■ にするための設定です。 短縮ダイヤル】 著信拒否 で 規制しない で の発信規制 で 外線発信規制
- ホットライン	電話番号 	サブアドレス

		下線は、お買い求め時の設定です。	でザイ きーー なドジ
設定項目	説明	設定内容	と利ウ
接続機器 (● 取扱説明書P187)	このアナログボートに接続する機器を 選択します。発信側の接続機器の設定 とここで設定した内容が異なる場合 は、着信しないことがあります。	接続しない 電話機1 <u>ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機</u> 電話機2 ファクス	
発信規制 (←取扱説明書P121)	このアナログボートに接続したアナロ グ通信機器からの発信を規制するとき に設定します。1桁めが「0」の電話番 号への発信を規制する場合は「0発信 規制」、すべての外線発信を規制する場 合は「外線発信規制」を選択します。	<u>規制しない</u> O発信規制 外線発信規制	コマンド
ホットライン (☞取扱説明書P152)	ホットラインを利用するときに設定し ます。	<u>しない</u> する	設定記入
ホットライン番号 (≪ 取扱説明書P152)	ホットラインに登録する電話番号を入 力します。サブアドレスを設定するこ ともできます。	電話番号(最大32桁) サプアドレス(最大19桁)	ハシート

TEL1ポート設定画面/TEL2ポート 設定画面

キャッチホン・番号通知

キャッチホン		プレイ発信者番号通知
 使用しない 	⊙ しない	C する
○ 疑似キャッチホン ○ INIC+・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-キャッチボッデ	(フゴレイ部信書番号通知)
() INS+++>F+>	© 1.50.1	C +3
- メッセージあり情報通知(Lモード関連) ―		
◎ しない	「ネーム・ディスプ	レイ発信者名通知
○ する	C しない	C する
- メッセージあり情報通知 電話番号(Lモー	ト関連) モデムダイヤルイ	つ着信電話番号通知
		0 to
,		

下線_は、お買い求め時の設定です。

設定項目	説明	設定内容
キャッチホン (《 取扱説明書P135)	INSキャッチホンまたは疑似キャッチ ホンを利用するときに設定します。	使用しない 疑似キャッチホン INSキャッチホン
メッセージあり情報通知 (Lモード関連) (<i>●</i> 取扱説明書P154、156)	INSメッセージ到着お知らせサービス を利用して、アナログ通信機器にメッ セージあり情報を通知するときに設定 します。	<u>しない</u> する
メッセージあり情報通知 電話番号(Lモード関連) (◆取扱説明書P155、156)	LモードまたはINSメッセージ到着お 知らせサービスで使用する電話番号 が表示されます。 発信者番号(≪P13)を入力すると 自動的に設定されます。	
ナンバー・ディスプレイ発信者	ナンバー・ディスプレイを利用すると	<u>しない</u>
番号通知(~ 取扱説明書P163)	きに設定します。	する
キャッチホン・ディスプレイ発信	キャッチホン・ディスプレイを利用す	<u>しない</u>
者番号通知(<i>~</i> 取扱説明書P167)	るときに設定します。	する
ネーム・ディスプレイ発信者	ネーム・ディスプレイを利用するとき	<u>しない</u>
名通知(<i>«</i> 取扱説明書P168)	に設定します。	する
モデムダイヤルイン着信電話番	モデムダイヤルインを利用するときに	<u>しない</u>
号通知(~ 取扱説明書P183)	設定します。	する

🐠 お知らせ

キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知およびネーム・ディスプレイ発信者名通知の設定は、ナン バー・ディスプレイ発信者番号通知を設定したときのみ有効です。 モデムダイヤルインとメッセージあり情報通知を同時に利用することはできません。

なりわけ



下線_は、お買い求め時の設定です。

設定項目	説明	設定内容	でザイ
INSなりわけ (~ 取扱説明書P140)	INSなりわけサービスを利用するとき に設定します。	<u>しない</u> する	き 1 1 なドジ いが 1
疑似なりわけ (<i>◆</i> 取扱説明書P141)	疑似なりわけを利用するときに設定し ます。	<u>しない</u> する	と利ウ き用ィ は
なりわけ動作設定 (<i>≪</i> 取扱説明書P140、141)	INSなりわけサービスまたは疑似なり わけを利用する場合、なりわけの動作 を選択します。	<u>識別リンギング</u> セキュリティ(着信拒否)	A
疑似なりわけ番号 (<i>●</i> 取扱説明書P141)	疑似なりわけに登録する電話番号を入 力します。サプアドレスを設定するこ ともできます。	電話番号(最大32桁) サプアドレス(最大19桁)	- コマンド

リティ の活用

設定画面

通信機能



疑似なりわけ番号をすべて消去するには

疑似なりわけ番号欄の右下にある [クリア] をクリックすると、電話番号、サプアドレスをすべて消去する ことができます。



TEL1ポート設定画面/TEL2ポート 設定画面

その他

"薹 TEL1ポート設定			×
TEL1ポートに接続した電話機・ファ	ウス・モデムなどの発信、着信をよ	过便利にするための設定です。	
発信·着信1 発信·着信2 キ+	→ッチホン・番号通知】なりわけ	その他 短縮ダイヤル 著信拒否	
- FAX無鳴動著信	内線呼出信号設定————		
⊙ しない	C 呼出信号1		
C する	◎ 呼出信号2		
- 受話音量調整 C 小 C 中 C 大			
	登録	キャンセル ヘルプ	

設定項目	説明	設定内容
FAX無鳴動着信	FAX無鳴動着信を利用するかどうか	<u>しない</u>
(✔取扱説明書P160)	を選択します。	する
受話音量調整 (☞ 取扱説明書P121)	このアナログボートに接続したアナロ グ通信機器の受話音量を調整します。	小 <u>中</u> 大
内線呼出信号設定	内線通話、内線転送のときの呼出音を	呼出信号1「プルルル、プルルル…」
(☞ 取扱説明書P129)	選択します。	<u>呼出信号2</u> 「プルプル、プルプル…」

リティの活用

設定画面

通信機能

短縮ダイヤル



			でザイ
設定項目	説明	設定内容	きーー
短縮ダイヤル (~ 取扱説明書P151)	短縮ダイヤルに登録する電話番号を入 力します。サブアドレスを設定するこ ともできます。	電話番号(最大32桁) サブアドレス(最大19桁)	いが - と利ウ き用ィ は



登録した短縮ダイヤルをすべて消去するには 画面右下にある[クリア]をクリックすると、電話番号、サブアドレスをすべて消去することができます。 パソコンでの 設定画面

TEL1ポート設定画面/TEL2ポート 設定画面

着信拒否

🦉 TEL1ポート設定	×
TEL1ポートに接続した電話機・ファクス・ヨ 発信・著信1 発信・著信2 キャッチホ	モデムなどの発信、著信をより便利にするための設定です。 ン・番号通知】なりわけ】その他】短縮ダイヤル「著信拒否」
着信拒否 指定番号のみ拒否する 全て着信拒否する ※指定番号のみ拒否するを選択して 電話番号を入力しない場合は、着信を 拒否しません。	電話番号 0 1 2 3 3 4 4 5 6 6 6 7 7 8 9 9 7 7 7 7 8 9 9 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7
	登録 キャンセル ヘルプ

下線_は、お買い求め時の設定です。

設定項目	説明	設定内容
着信拒否 (≪取扱説明書P133)	このアナログポートに接続 したアナログ通信機器で、 着信を受けないときに設定 します。	指定番号のみ拒否する:登録した電話番号からの着 信のみ拒否する 全て着信拒否する:すべての着信を拒否する
着信拒否電話番号 (<i>◆</i> 取扱説明書P133)	特定の電話番号からの着信 を拒否する場合、拒否する 電話番号を入力します。	電話番号(最大32桁)



登録した電話番号をすべて消去するには 画面右下にある[クリア]をクリックすると、電話番号をすべて消去することができます。



TEL1・2ポート共通設定画面

メニュー画面で[TEL1・2ポート共通設定]をクリックすると表示される画面で す。

三者通話・通信中転送

[●] TEL1・2ポート共通設定 TEL1ポート及びTEL2ポートに共通する設定です。	X
三者通話・通信中転送 若信転送 その他 メッセ	ージ表示〈Lモード関連〉
 三者通話 (使用しない) 受損以三者通話する () =者通話する 	話者切替タイマ 4 1 1 秒 (2~9) ※フッ <u>キングをして、前の方との</u> お話に切り
通信中転送	er/oak countierzekuelak y .
	登録 キャンセル ヘルブ

下線_は、お買い求め時の設定です。

			下線_は、お買い求め時の設定です。	でザイきトジー
設定項目		説明	設定内容	いか- と利ウ
三者通話 (<i>■</i> 取扱説明書P144、	(145)	フレックスホンの三者通話、または疑 似三者通話を利用するときに設定しま す。	<u>使用しない</u> 疑似三者通話する 三者通話する	анч t
話者切替タイマ (<i>■</i> 取扱説明書P14	8)	三者通話などで話す相手の方を切り替 えるとき、1回フッキングをしてから 次にフッキングをするまでの時間(発 信音が鳴っている時間)を設定します。	2~9(秒) (お買い求め時:4秒)	AFnマン
通信中転送 (✔取扱説明書P14	9)	通信中転送を利用するかどうかを選択 します。	<u>使用しない</u> 使用する	۲

リティ の活用

設定画面のの

通信機能



TEL1・2ポート共通設定画面

着信転送

TEL1・2ポート共通設定 TEL1ポート及びTEL2ポートに共通 三者通話・通信中転送 着信転送	▼ する設定です。] その他 メッセージ表示(Lモード関連)
 著信転送 ご 使用しない ご 疑以者信転送する ご 着信転送する - 著信転送 転送元・転送先電話 	着信転送トーキ設定 転送トーキなし、転送元トーキなし、ユーザ浩報なし ※疑似着信転送のときは利用できません。
契約者回線番号用 「 ダイヤルインバ・ナンバー用1 「 ダイヤルインバ・ナンバー用2 「	転送元電話番号
	きゃンセルへルブ

設定項目	説明	設定内容
着信転送 (☞ 取扱説明書P191)	フレックスホンの着信転送、または疑 似着信転送を利用するときに設定しま す。	<u>使用しない</u> 疑似着信転送する 着信転送する
着信転送トーキ設定 (● 取扱説明書P191)	フレックスホンの着信転送をご利用の とき、電話をかけてきた方、転送する 相手の方に流す音声(トーキ)を設定 します。	 転送トーキなし、転送元トーキなし、 ユーザ情報なし 転送トーキあり、転送元トーキなし、 ユーザ情報なし 転送トーキなし、転送元トーキあり、 ユーザ情報あり 転送トーキなし、転送元トーキあり、 ユーザ情報あり 転送トーキなし、転送元トーキなし、
着信転送 転送元・転送 先電話番号設定 (<i>◆</i> 取扱説明書P191)	着信転送の転送元電話番号、転送元サ プアドレス、転送先電話番号を設定し ます。契約者回線番号用、ダイヤルイ ン / i・ナンバー用1、ダイヤルイ ン / i・ナンバー用2のそれぞれにつ いて設定できます。	転送元電話番号(最大32桁) 転送元サブアドレス(最大19桁) 転送先電話番号(最大32桁)

リティの活用

設定画面

その他



		下線_は、お買い求め時の設定です。	でザイ きー なドシー
設定項目	説明	設定内容	と利ウ
優先着信ポート指定 〔 <i>◀</i> 取扱説明書P132〕	どちらかのアナログポートを優先的に 着信させたいときに設定します。	<u>指定しない</u> TEL1ポート TEL2ポート	さ用1
FAX自動転送 (<i>~</i> 取扱説明書P158)	FAX自動転送を利用するときに設定 します。	<u>しない</u> する	A T J
フッキング検出タイマ (<i>◆</i> 取扱説明書P129)	フックスイッチを長めに押してもフッ キングと認識させる場合は「長い」に、 短めに押してもフッキングと認識させ る場合は「短い」に設定します。	短い <u>普通</u> 長い	マンド
内線機能 (✔取扱説明書P129)	内線通話、内線転送を使用するかどう かを選択します。	使用しない <u>使用する</u>	設定
ダイヤル終了識別 (<i>ᡨ</i> 取扱説明書P121)	ダイヤル終了時に()ボタンを押して も発信できないようにする場合は「し ない」に、()ボタンを2回押して発 信できるようにする場合は「する(# #)」に設定します。	しない <u>する(#)</u> する(##)	記入シート
ダイヤル桁間タイマ (<i>◆</i> 取扱説明書P121)	ダイヤルボタンを押してから自動的に 発信するまでの間隔を設定します。	2~15(秒) (お買い求め時:4秒)	
モデムダイヤルイン用契 約者回線番号 (≪ 取扱説明書P185)	モデムダイヤルインを利用する場合、 契約者回線番号で着信したときに通知 する電話番号を設定します。必ず市内 局番から設定します。通常は、契約者 回線番号を設定してください。	電話番号(最大20桁)	



TEL1・2ポート共通設定画面

メッセージ表示(Lモード関連)

ﷺ TEL1・2ポート共通設定	×
TEL1ポート及びTEL2ポートに共通する設定です。	
三者通話・通信中転送 若信転送 その他 メッセージ表示(Lモード関連)	_
MSGランブ設定(Lモード関連)	
◎ メッセージあり状態表示をする	
○ メッセージあり状態表示をしない	
登録 キャンセル ヘルプ	

設定項目	説明	設定内容
MSGランプ設定(Lモー ド関連) (<i>~</i> 取扱説明書P154、156)	LモードまたはINSメッセージ到着お 知らせサービスをご利用の場合、メッ セージあり状態をランプで表示すると きに設定します。	メッセージあり状態表示をする メッセージあり状態表示をしない

データポート設定画面

メニュー画面で「データポート設定」をクリックすると表示される画面です。

発信・着信

設定項目

(☞取扱説明書P161)

発信者番号

着信する番号

□ データボート設定	×
データボート(RS-232Cボート・USBボート・Bluetooth)に持 の設定です。	競売したパソコンでの通信をより便利にするため
発信・著信 BOD機能 CT機能 その他	
- RS-232C	- MUX発信アドレス
着信する番号 /	発信者番号通知
サブアドレス	○ 発信者番号通知する
USB	 発信者番号通知しない
発信者番号	 INSネット64申込内容に従う
着信する番号	-サブアドレスなし着信選択
サブアドレス	 ・ ・ ・
Bluetooth	○ 着信しない
発信者番号	グローバル着信選択
着信する番号	 ・ ・ ・
サブアドレス	○ 着信しない
	緑 キャンセル ヘルプ

説明

発信するときに通知する電話番号を入

RS-232Cポート、USBポート、 Bluetoothのそれぞれについて設定

力します。

します。

下線_は、お買い求め時の設定です。

設定内容

電話番号(最大32桁)

できないときは ザードが利用

ATコマンド

設定記入シート

リティ の活用

設定画面 の

通信機能

(ī		

(◆ 取扱説明書P180)	カします。 RS-232Cポート、USBポート、 Bluetoothのそれぞれについて設定 します。	
サブアドレス (~ 取扱説明書P186)	データポートに設定するサプアドレス を入力します。 RS-232Cポート、USBポート、 Bluetoothのそれぞれについて設定 します。	サブアドレス(最大19桁)
MUX発信アドレス (<i>■</i> P38)	MUX機能を利用して通信するときの 電話番号を入力します。	電話番号(最大32桁)
発信者番号通知 (✔取扱説明書P161)	データポートから発信するとき、発信 者番号を通知するかどうかを設定しま す。	発信者番号通知する 発信者番号通知しない INSネット64申込内容に従う
サブアドレスなし着信選 択(☞ 取扱説明書P186)	サブアドレスが指定されていない着信 を受けるかどうかを設定します。	<u>着信する</u> 着信しない
グローバル着信選択 (≪ 取扱説明書P180)	INSネット64のグローバル着信の利 用を契約している場合、グローバル着 信選択機能を設定します。	<u>着信する</u> 着信しない

_____ データポートに着信する電話番号を入│電話番号(最大32桁)



データポート設定画面

(前ページの続きです)



発信者番号通知を「通知しない」または「通知する」に設定し、i・ナンバーを「使用する」に設定した 場合は、必ず発信者番号(←取扱説明書P161)を正しく設定してください。 サブアドレスなし着信選択を「着信しない」に設定すると、サブアドレスのない着信(相手の方が契約 回線番号、i・ナンバー電話番号または追加番号のみで発信)は受けられなくなります。



発信者番号を正しく設定しない場合、相手の方に発信者番号(≪取扱説明書P161)が正しく通知され ません。また、INSネット64サービスが利用できない場合がありますので、発信者番号を正しく設定し てください。

リティの活用

設定画面

通信機能

BOD**機能**

🧱 データボート設定 × データボート(RS-232Cボート・USBボート・Bluetooth)に接続したパンコンでの通信をより便利にするための設定です。 発信・着信 BOD機能 CTT機能 その他 -リソースBOD-スループットBOD ⊙ 使用しない ⊙ 使用しない 発信/着信時に使用する ○ 使用する ○ 発信時に使用する リンク追加・ 算出時間 30 ▼ 秒 (10~60) しきい値 70 ▼ % (60~90) ○ 着信時に使用する リンク削除 算出時間 10 ▼ 秒 (10~60) しきい値 20 ▼ % (10~40) 登録 キャンセル ヘルプ

		下線_は、お買い求め時の設定です。	でザイ きー なドジ
設定項目	説明	設定内容	と利ウ
リソースBOD (ぜР34)	リソースBODを利用するとき、利用 するタイミングを選択します。	<u>使用しない</u> 発信 / 着信時にする 発信時に使用する 着信時に使用する	анч L A
スループットBOD (<i>■</i> P35)	スループットBODを利用するかどう かを選択します。	<u>使用しない</u> 使用する	T T T
リンク追加 算出時間 (<i>■</i>P35)	スループットBODを利用するときのリ ンク追加算出時間を指定します。	10~60(秒) (お買い求め時:30秒)	ンド
リンク追加 しきい値 (< P35)	スループットBODを利用するときのリ ンク追加しきい値を指定します。	60~90(%) (お買い求め時:70%)	主公
リンク削除 算出時間 (<i>■</i> P35)	スループットBODを利用するときのリ ンク削除算出時間を指定します。	10~60(秒) (お買い求め時:10秒)	定記入
リンク削除 しきい値 (< P35)	スループットBODを利用するときのリ ンク削除しきい値を指定します。	10~40(%) (お買い求め時:20%)	シート



データポート設定画面

CTI**機能**

🏽 データボート設定	x
データポート(RS-232Cボート・USBポート・Bluetoの設定です。	ooth)に接続したパソコンでの通信をより便利にするため
発信・著信 BOD機能 CTI機能 CTI情報出力 ・ 出力しない ・ 出力しない ・ ・ TEL1への着信を出力する ・ ・ TEL1またはTEL2への着信を出力する ・ ・ TEL1またはTEL2への着信を出力する ・ ・ フォーマット ・ ・ フォーマット ・ ・ フォーマット ・ ・ フォーマット ・ ・ アス・マット2 ・ ・ CTIFU用ポート ・ ・ R S = 232C ・ ・ USB ・ ・ Bluetooth	CT現信 - CT理手出種別環定 で 送出しない で 呼出信号1 で 呼出信号3 - CT理手出時間数定 180 で 秒 (15~180)
	登録 キャンセル ヘルプ

設定項目	説明	設定内容
CTI情報出力 (✔P40)	アナログポートに着信したとき、相手 の方の発信者番号または非通知理由、 着信した番号をデータポートに出力す るかどうかを設定します。	<u>出力しない</u> TEL1への着信を出力する TEL2への着信を出力する TEL1またはTEL2への着信を出力する
CTI情報表示フォーマット (<i>■</i> P40)	CTI情報表示フォーマットを設定しま す。フォーマット1に設定した場合は、 転送元番号、ポート番号は表示されま せん。	<u>フォーマット1</u> フォーマット2
CTI利用ポート (☞ P40、42)	CTI情報出力およびCTI発信を利用す るポートを選択します。	<u>RS-232C</u> USB Bluetooth
CTI呼出種別設定 (▲ P42)	CTI発信でアナログ通信機器を呼び出 すときの呼出音を選択します。呼出音 を鳴らさないときは、「送出しない」 を選択します。「送出しない」を選択 しても、「CTI呼出時間設定」で指定 した時間内はCTI発信することができ ます。	送出しない <u>呼出信号1</u> 呼出信号3
CTI呼出時間設定 (✔P42)	CTI発信でアナログ通信機器を呼び出 す時間を指定します。	15~180(秒) (お買い求め時:180秒)

リティ の活用

設定画面

通信機能

その他



下線_は、お買い求め時の設定です。

		下線は、お買い求め時の設定です。	でザイ きージ
設定項目	説明	設定内容	と利ウ
ER信号制御 (☞ P33)	ER信号がないパソコン(Macintosh など)をお使いの場合は、「常時ON」 を選択します。 RS-232Cポート、USBポートのそ れぞれについて設定します。	<u>パソコンのER信号を監視する</u> 常時ON	
強制切断タイマ (☞ P32)	データ通信を開始してから強制的に切 断するまでの時間を指定します。「0」 にすると強制切断は行われません。	0~10(時間) (お買い求め時:10時間)	・コマンド
無通信監視タイマ	データの送受信がなくなってから自動	0~10(分) (お買い求め時:10分)	
(≉ P32)	的に切断するよどの時間を指定します。「0」にすると自動切断は行われ ません。		設定

設定記入シート

利用できる通信モード

INSメイトFT80btは、インターネットサービスプロバイダに非同期/同期PPP変換、 または128KマルチリンクPPPの通信モードで接続できます。 通信モードは、付属のCD-ROMからパソコンにモデム定義ファイル(Windows®対応機種の場合)やCCLファイル(Macintoshの場合)をインストールすることにより設定することができます。

非同期/同期PPP変換

パソコンからの非同期PPP(Point to Point Protocol)データを同期PPPデータに変換して通信する モードです。また、この逆の動作も行います。インターネットの同期64 kbit/sの接続サービスを利用す るときの通信モードです。



128K**マルチリンク**PPP

マルチリンクプロトコル(MP)方式により、INSネット64の2本のBチャネルを使って128 kbit/sで 通信するモードです。インターネットサービスプロバイダが128KマルチリンクPPPに対応したアクセ スポイントを持つ場合に利用できます。

128KマルチリンクPPPは、発信専用の機能です。



Bluetooth™**制御**

INSメイトFT80btにパソコンを登録し、FT80btアダプタに接続したパソコンからインターネットサー ビスプロバイダに接続できます。







INSメイトFT80bt

湯合は、

設定画面 の

できないときは ザードが利用



自動応答

INSネット64からの着信には、自動応答します。128KマルチリンクPPPで着信した場合は、Bチャネル1本のみ自動応答します。

内線データ通信

データポートに接続した複数のパソコンどうしで内線データ通信が行えます。(#P39)

🖗 ワンポイント

128KマルチリンクPPPで接続しているときは

- •液晶ディスプレイに状態が表示されます。(一般表示モード時に「B12」と表示されます。)
- ・アナログポートでの発信、着信はできません。ただし、リソースBOD(←P34)使用時は発信、着信ができます。

128KマルチリンクPPPの通信料金は

2本のBチャネルを使用するので、非同期 / 同期PPP変換で1本のBチャネルを使用しているときの2倍の通 信料金がかかります。

使用するチャネル数を自動的に変更するには(BOD機能)

128KマルチリンクPPP通信でデータ通信を行っているとき、アナログ通信機器の発着信または通信データ 量によって、使用するチャネル数を自動的に変更することができます。(*P34)

stop お願い

RS-232Cポートで通信する場合、128KマルチリンクPPPではINSメイトFT80btとパソコン間の通信 速度は230.4 kbit/sで使用することをおすすめします。Windows®対応機種で使用する場合、お使い になるパソコンが230.4 kbit/sに対応していないときは、別途230.4 kbit/sに対応した市販の高速 RS-232Cボードが必要です。

Macintoshで使用する場合は、230.4 kbit/s対応の機種をお使いください。 115.2 kbit/sで使用される場合は、十分な通信速度が出ない場合があります。

通信を自動的に切断するには (無通信監視/強制切断)

無通信状態が続いたときに自動切断したり、一定時間が経過すると強制的に切断した りすることができます。

無通信監視

通信相手とデータのやりとりがない状態が続いたとき、通信を自動切断することができます。お買い求め時 は10分で切断するように設定されています。

インターネットサービスプロバイダによっては、監視パケットなどを定期的に発信する場合があります。 この場合は自動切断されませんので、必ずパソコンから切断操作を行うか、強制切断機能をご利用ください。

必要な設定

自動切断するまでの時間を変更する場合は、無通信監視タイマの時間を変更します。無通信監視を行 わない場合は、無通信監視タイマを「0」に設定します。

機能	PCで設定 (設定内容
無通信監視タイマ	データポート設定画面 「その他」	自動切断するまでの時間を0~10(分) の範囲で設定する

強制切断

通信時間が設定した時間を超えたとき、強制的に切断することができます。お買い求め時は10時間で切断す るように設定されています。

インターネットサービスプロバイダが監視パケットなどを定期的に発信するため、無通信監視タイマを利用 できない場合でも、うっかりした切断忘れを防止できます。

また、切断ボタンを押すと、強制的にすべてのポートの通信を切断することができます。

必要な設定

強制切断するまでの時間を変更する場合は、強制切断タイマの時間を変更します。強制切断を行わな い場合は、強制切断タイマを「0」に設定します。

機能	PCで設定 (~ P29)	設定内容
強制切断タイマ	データポート設定画面 「その他」	強制切断するまでの時間を0~10(時間) の範囲で設定する

の お知らせ

ー般的に、通信ソフトウェアでは、ER信号を使った切断、ATコマンドによる切断(+++、ATH)の2つ で切断します。Macintoshのモデムポート、プリンタポートでは、通信ポートで一般的に使われるER信 号とRS信号を1つの信号で制御しているため、ER信号による切断ができません。 ソフトウェアの異常で画面上は切断されていても、ATコマンドが送出されず、実際は切断できていない 場合もあります。通信費用の節約のためにも強制切断タイマを設定しておくことをおすすめします。

ER**信号を制御するには**

ER信号は、データポートに接続したパソコンが動作準備できているかどうかをINS メイトFT80btに知らせる信号です。ER信号のないパソコンをご使用になる場合は、 パソコンのER信号を常にONとみなすように設定する必要があります。

必要な設定

MacintoshでRS-232Cポートをお使いの場合は、ER信号を「常時ON」に設定します。お買い求め 時は、「パソコンのER信号を監視する」に設定されています。

機能	PCで設定 (~P29)	設定内容
ER信号制御	データポート設定画面 「その他」	ER信号のないパソコン(Macintosh)を お使いの場合は、「常時ON」を選択する

😡 ワンポイント

Macintoshの制御信号について

Macintoshのモデムポート、プリンタポートでは、通信ボートで一般的に使われるER信号とRS信号を1つの信号で制御しています。ER信号を「常時ON」にしていないと、RS-CSフロー制御を使ったデータ通信中にフローがかかったとき、ER信号(RS信号)がOFFになり、通信が切断されてしまいます。

🐠 お知らせ

Bluetooth™でのER信号制御の設定は設定ユーティリティからはできません。設定を行う場合は、ATコ マンドから行ってください。

いろいろな 通信機能

BOD機能を利用するには

BOD (Bandwidth On Demand)とは、128KマルチリンクPPP (MP)でデータ通 信を行っているとき、使用するチャネルの数を自動的に変更する機能です。 アナログ通信機器の発着信によって変更する「リソースBOD」、通信データ量によって変 更する「スループットBOD」の2つの方式があります。

リソースBOD

リソースBODを設定すると、128KマルチリンクPPP(MP)でデータ通信を行っているとき、アナログ ポートに接続した電話機やファクスに発着信があると、データ通信のBチャネルを1本削除して電話機やファ クスが使用できるようになります。



アナログ通信機器を使用していないときは、2本のBチャネルを使用する アナログ通信機器の発信時 / 着信時に、1本のBチャネルに切り替える

必要な契約

INSネット64の契約で「通信中着信通知サービス」の利用を選択する必要があります。

必要な設定

リソースBODの設定で、リソースBODをいつ利用するかを選択します。

機能	PCで設定 (** P 2 7)	設定内容
リソースBOD	データポート設定画面 「BOD機能」	リソースBODを利用する場合は、次の中 から利用するタイミングを選択する 「発信/着信時に使用する」:アナログ通 信機器からの発信時、およびアナログ通 信機器への着信時に利用する 「発信時に使用する」:アナログ通信機器 からの発信時に利用する 「着信時に使用する」:アナログ通信機器 への着信時に利用する

💵 お知らせ

プロバイダの混雑状況によっては、アナログ通信機器の使用が終わったあとにBチャネルを追加できない ことがあります。液晶ディスプレイの表示で確認できます。このときは、ハンドセットを取りあげて置 く操作をすると、もう一度Bチャネルの追加を試みます。

Bチャネルの追加と電話をかけるタイミングが重なったときには、話中音が聞こえることがあります。このときは、再度電話をかけ直してください。

リソースBODとスループットBODの両方を利用するときは、アナログ通信機器の使用が終わってもデー タポートの通信データ量がしきい値以上にならないとBチャネルを追加しません。

リソースBODは、S/T端子に接続したINSネット64用通信機器では利用できません。

リティの活用 設定ユー ティ

設定画面 の

通信機能

スループットBOD

スループットBODを設定すると、通信データ量が少ないときには1本のBチャネルを使用し、多いときは2本のBチャネルを使用して通信を行うことができます。



データ量が少ないときは、1つのBチャネルを使用する データ量が多いときは、2つのBチャネルを使用する

必要な設定

スループットBODを「使用する」に設定します。

リンク追加算出時間、リンク追加しきい値、リンク削除算出時間、リンク削除しきい値で、Bチャネ ルを追加 / 削除するときの算出時間とデータ量を設定します。

「リンク追加算出時間」内の通信データ量が「リンク追加しきい値」より大きくなると、Bチャネル2 本で通信します。また、「リンク削除算出時間」内の通信データ量が「リンク削除しきい値」より小さ くなると、Bチャネル1本で通信します。

機能	PCで設定 (~P27)	設定内容
スループットBOD	データポート設定画面 「BOD機能」	「使用する」を選択する
リンク追加 算出時間	データポート設定画面 「BOD機能」	10~60(秒)の範囲で設定する (お買い求め時:30秒)
リンク追加 しきい値	データポート設定画面 「BOD機能」	60~90(%)の範囲で設定する (お買い求め時:70%)
リンク削除 算出時間	データポート設定画面 「BOD機能」	10~60(秒)の範囲で設定する (お買い求め時:10秒)
リンク削除 しきい値	データポート設定画面 「BOD機能」	10~40(%)の範囲で設定する (お買い求め時:20%)

設定記入シート

(前ページの続きです)

設定例

以下のように設定する場合

- 40秒間の通信データ量の平均値が、51.2 kbit/s(64 kbit/sの80%)より大きくなったとき、
 Bチャネル2本で通信する
- ・20秒間の通信データ量の平均値が、6.4 kbit/s(64 kbit/sの10%)より小さくなったとき、B チャネル1本で通信する

機能	設定内容
スループットBOD	「使用する」を選択する
リンク追加 算出時	1 40(秒)に設定する
リンク追加 しきい	1値 80(%)に設定する
リンク削除 算出時	間 20(秒)に設定する
リンク削除 しきい	10(%)に設定する

💵 お知らせ

しきい値は、64 kbit/s (Bチャネル1本分)を100 %として計算しています。

プロバイダの状況、データ通信の利用状況(Webページを見る、ダウンロードするなど)、アクセスポイントの混雑状況などによっては、Bチャネルの追加と削除が頻繁に発生して、料金が高くなる場合があります。

INSメイトFT80btはプロバイダからのBチャネル削除、追加要求があると拒否するように設計されています。プロバイダから強制的にBチャネルを追加、削除された場合には、通信エラーとなる可能性があります。ただし、一般的なプロバイダでは、このような要求はありませんので問題ありません。

Bチャネルを追加、削除した直後はそれ以前の通信データ量を200 %または0 %として計算するため、 通信データ量によっては「リンク追加算出時間」または「リンク削除算出時間」を経過する前にBチャネ ルの追加、削除が行われる場合があります。
いろいろな 诵信機能

複数のパソコンで同時にインターネットを 利用するには (MUX機能)

INSメイトFT80btのUSBポート、RS-232CポートおよびFT80btアダプタに 接続された3台のパソコンから、同時に同じプロバイダのアクセスポイントに接続 して、インターネットを利用することができます。

MUX機能とは

MUX機能を利用すると、1本のBチャネルを使用するだけで、3台のパソコンで同時にインターネットを 利用することができます。

- 1本のBチャネルが空いているので、アナログポートに接続された電話機やファクスを使用するこ とができます.
- ホームページの閲覧などのデータ量が多くない場合は、2本のBチャネルを使用するのに比べて通 信料金がかかりません。
- 128kマルチリンクPPP(●P30)を利用し、2本のBチャネルを使用して3台のパソコンで同時 にインターネットを利用することもできます。

MUX機能の利用例

1本のBチャネルを2台のパソコンで使う場合

1本のBチャネルを使ってプロバイダのアクセスポイントに接続し、USBポート、RS-232Cポート およびFT80btアダプタに接続された2台のパソコンからインターネットを利用します。



リティの活用

設定画面 の

通い信ろ

でザイ

こきないときは
ノードが利用

ATコマンド

複数のパソコンで同時にインターネットを 利用するには (MUX機能)

(前ページの続きです)

必要な設定

MUX発信アドレスの設定が必要です。

機能	PC で設定	設定内容
MUX発信アドレス	データポート設定画面 「発信・着信」(<i>◆</i> P25)	プロバイダの電話番号を入力する (最大32桁)
接続先の電話番号	OSにより異なります (☞別冊「インターネッ ト接続ガイド」)	「90」と入力する



接続の方法については、別冊「インターネット接続ガイド」をご覧ください。

S/T端子にバス配線で接続されているINSネット64用通信機器に接続されているパソコンからは、MUX 機能を利用できません。

MUX機能は、ルータなどで用いられているIPアドレスのポート番号変換機能を使用するため、一般にル タで使用できないネットワークゲームなどのアプリケーションは、動作しない場合があります。

MUX通信時の認証はPAPのみサポートされます。 MUX通信時、以下の機能はサポートされません。

VJC、MS-CBCP、MLPPP(クライアントが実装している場合)、CCP

MUX通信時の通信モード(#P30)は、2台目以降のモデム定義ファイルの設定にかかわらず、1台目に設定された通信モードで動作します。

MUX通信時は、接続状態により1台で接続する場合よりも通信速度が遅くなります。

MUX通信時には、異なるアクセスポイントに接続することはできません。また、1つのアクセスポイントに異なるユーザ名やパスワードで接続することはできません。

MUX通信を切断する際は、必ず通信しているすべてのパソコンから切断の操作を行ってください。1台のパソコンから切断操作を行っても他のパソコンが通信中の場合、回線は切断されません。



MUX通信を行うときは、1台目のパソコンの接続の認証が完了し正しく接続されたことを確認してから 2台目のパソコンで発信を行ってください。最初の認証が完了する前に発信すると正しく接続することが できません。

パソコンどうしで通信するには (内線データ通信)

INSメイトFT80btのRS-232Cポート、USBポート、Bluetoothの各データポー トに接続されたパソコンどうしで内線データ通信ができます。



2 自動応答しない場合は、着信側のパソコンからATAコマンドを入力する。 お買い求め時の設定では、自動応答する設定になっています。

3 内線通信を終了するときは、エスケープシーケンス(+++)を入力してオン ラインコマンドモードにしてからATHコマンドを入力する。

できないときは ザードが利用

リティの活用

沢ソコンでの の

通信機能



お知らせ

内線着信の自動応答、非同期 / 同期変換は行われません。

CTI機能を利用するには

CTI (Computer Telephony Integration)とは、アナログポートへの着信時に通知される情報をパソコンで処理するなど、電話とパソコンを統合的に利用する機能です。CTI情報出力とCTI発信の2つの機能があります。

CTIを実現するには、別途INSメイトFT80bt対応のアプリケーションソフトのご購入が必要です。

CTI情報出力

アナログポートへ着信したとき、発信者番号、着信した番号などの情報をRS-232Cポート、USBポート、 Bluetoothのいずれかに出力することができます。電話をかけてきた方の電話番号の表示や管理ができます。 RS-232Cポート、USBポート、Bluetoothのいずれか指定したポートが空いているときに限り、1回のみ出 力します。



必要な契約

ー般の電話回線からの着信時に、相手先の電話番号をデータポートに出力するには、INSナンバー・ ディスプレイの契約(有料)が必要です。

必要な設定

どのアナログポートへ着信した情報をどのデータポートに出力するか、CTI情報出力、CTI情報表示 フォーマット、CTI利用ポートを設定する必要があります。

機能	₽С тада (● P28)	設定内容
CTI情報出力	データポート設定画面 「CTI機能」	次の中から、情報を出力するアナログ ポートを選択する 「TEL1への着信を出力する」 「TEL2への着信を出力する」 「TEL1またはTEL2への着信を出力する」
CTI情報表示フォーマッ ト	データポート設定画面 「CTI機能」	「フォーマット1」「フォーマット2」のい ずれかを選択する。 フォーマット1の場合、転送元番号、 ポート番号は表示されません。
CTI利用ポート	データポート設定画面 「CTI機能」	次の中から、使用するポートを選択する RS-232C USB Bluetooth

出力するデータ形式

CR	LF RING_ANAI	_OG発番号	膏 / 発サブアドレス_	着番号 / 着サブアドレス転送元番号ポート番号 C	R	LF	
CF	र	: ODh	発番号	:最大32桁			
LF		: OAh	発サブアドレス	:最大19桁			
	(スペース)	:20h	着番号	:最大32桁			
/	(スラッシュ)	: 2Fh	着サブアドレス	: 最大19桁			

非通知理由を受信したとき

発番号、発サブアドレスの代わりに、次のような非通知理由が出力されます。

CR	LF	RING_	_ANALOG_非通知理由着番号 / 着サブアドレス転送元番号ポート番号	CR	LF	
非	通知	理由	P(50h):ユーザ拒否			
			O(4Fh):サービス提供不可			
			C(43h):公衆電話発信			
			S(53h):サービス競合			
						i

ワンポイント

出力する着番号は

- ・ダイヤルインを契約していない場合、およびグローバル着信でダイヤルインを契約している場合 モデムダイヤルイン用契約者回線番号に設定した電話番号がCTI利用ポートで選択したポートに出力されま す。
- ・i・ナンバーをご利用の場合
- i・ナンバーを「使用する」に設定し、i・ナンバー電話番号を登録すると、その番号が出力されます。i・ナ ンバー電話番号を登録しないと出力されません。
- 転送元番号が通知されない場合は転送元番号の部分が「*」で表示されます。

)))))) お知らせ

RS-232Cポート、USBポート、およびBluetoothへの出力時、CI信号は変化しません。 設定ユーティリティで本機能を行うよう設定したあと、設定ユーティリティを終了する前にアナログポート へ着信があると、「ATコマンドエラー」と表示される場合があります。 相手の方が電話番号を通知しない契約を結んでいる、または電話番号を通知しない操作をした場合など は、出力されません。 パソコンを最初に接続したときや、パソコンの速度を変更したときは、ターミナルソフトで必ず「AT」 を入力してください。「AT」を入力しない場合、文字化けなど正しく動作しないことがあります。 この取扱説明書では、CTIを利用するための出力フォーマットを公表しておりますが、これらはお客様の

用意されるソフトウェアの動作を保証するものではありません。

ATコマンド

リティ の し

) 活テ 用ィ

設定画面 の

通い信ろ機 能ろ な

でザイ

てきないときは

CTI**発信**

データポートに接続したパソコンからATコマンドを入力して、アナログポートに接続した電話機から発信す ることができます。



必要な設定

アナログ通信機器の着信音を鳴らさないようにしたり、着信音の音を変えるには、CTI呼出種別設定 を変更します。お買い求め時は、「呼出信号1」に設定されています。

アナログ通信機器を呼び出すまでの時間を変えるには、CTI呼出時間設定を変更します。お買い求め時は、180秒に設定されています。

CTI利用ポートの設定が必要です。

機能	₽Сで設定 〕(● P28)	設定内容
CTI呼出種別設定	データポート設定画面 「CTI機能」	次の中から、アナログ通信機器の着信音 を選択する 「送出しない」:着信音を鳴らさない 「呼出信号1」:「プルルル、プルルル…」 (お買い求め時の設定) 「呼出信号3」:「プルプルプル、プルプ ルプル…」
CTI呼出時間設定	データポート設定画面 「CTI機能」	15~180(秒)の範囲で設定する (お買い求め時:180秒)
CTI利用ポート	データポート設定画面 「CTI機能」	次の中から、使用するポートを選択する RS-232C USB Bluetooth

CTI発信の手順

パソコンからATコマンドを入力する。

ATコマンドで指定したアナログポートに接続されているアナログ通信機器の着信音が180秒間 (CTI呼出時間設定の設定内容)鳴ります。

着信音が鳴っている間に、アナログ通信機器のハンドセットを取りあげる。

ATコマンドで入力した電話番号で、INSメイトFT80btが自動的に発信します。着信音が鳴っている間にハンドセットを取りあげないと、呼び出しを中止します。

すでに2本のBチャネルを使用している場合は、ハンドセットを取りあげると、話中音が聞こえます。 相手の方が出たら、お話しする。

CTI発信のATコマンド

AT!D アナログポート番号;相手の方の電話番号(着番号/着サブアドレス) CR

アナログポート番号 :1または2 / ;(セミコロン) :区切り子 着サ 着番号 :最大32桁

/ :着番号と着サブアドレスの区切り子 着サブアドレス :最大19桁

CTI発信の取り消し

アナログ通信機器を呼び出している間は、次のATコマンドで発信を取り消すことができます。

AT!H アナログポート番号 CR

ワンポイント

アナログ通信機器を呼び出し中に電話がかかってきたときは

呼び出されていない方のアナログ通信機器に着信します。ただし、着信拒否、i・ナンバー、ダイヤルインな どの設定によって着信できないときは、相手の方には話中音が聞こえます。

💵 お知らせ

CTI発信にINSメイトFT80btの短縮ダイヤル機能は利用できません。

CTI発信後、内線転送を行った場合、パソコンへ通知するアナログポート番号はCTI発信時のアナログ ポート番号です。

CTI発信後にAT!D、AT!H、および設定系コマンド(ATZ,ATZ98を含む)以外のATコマンドを入力した場合は、パソコンへERRORを通知します。

ATD¥によるCTI発信はできません。

CTI発信中にER信号がOFFになった場合は、ER信号制御の設定により下記の動作になります。

ER信号制御の設定	設定時の動作
パソコンのER信号を監視する	アナログ通信機器の呼び出しを停止する。その後のリザルトコー ドはパソコンへ通知しない。
常時ON	CTI発信動作を継続する。

パソコンを最初に接続したときや、パソコンの速度を変更したときは、必ず「AT」を入力してください。 「AT」を入力しない場合、文字化けなど正しく動作しないことがあります。

アナログ通信機器によっては、CTI呼出種別設定(**一**P42)の呼出信号3の着信音が正常に鳴らない機種 があります。

この取扱説明書では、CTI発信を利用するための出力フォーマットを公表しておりますが、これらはお客様の用意されるソフトウェアの動作を保証するものではありません。

リティの活用

設定画面 の

通い

でザイ

`きないときは ージーウィ



リザルトコードフォーマットと通知条件

・CONNECTフォーマット

	CR	LF	CONNECT_T アナログポート番号	CR	LF		
(CR		:0Dh				
	L		: 0Ah				
_	_(ス	ペー	ス):20h				
	アナロ	グポ	ート番号:1または2				
1	通知条件						
	木	目手応	5答時				

・OKフォーマット

CR LF OK_T アナログポート番号 CR LF

通知条件

空き状態のアナログポートを指定してAT!Hコマンドを入力したとき

・NO CARRIERフォーマット

CR	LF	NO_	_CARRIER_	_Т	アナログポート番号	CR	LF
----	----	-----	-----------	----	-----------	----	----

通知条件

終話時および相手話中以外で接続不可時 CTI発信後アナログ通信機器を呼び出し中にAT!Hコマンドで発信を取り消したとき すでに2本のBチャネルを使用している状態で、手順2でハンドセットを取りあげたとき CTI発信で指定したアナログポートに発信規制が設定されている場合 CTI発信で指定したアナログポートの接続機器設定が「接続しない」に設定されている場合 回線異常状態でのCTI発信時

・BUSYフォーマット

CR	LF	BUSY_	_Т	アナログポー	ト番号	CR	LF
----	----	-------	----	--------	-----	----	----

通知条件

相手話中時

・ERRORフォーマット

CR	LF	ERROR_T	アナログポート番号	CR	LF	
----	----	---------	-----------	----	----	--

通知条件

着番号、着サブアドレスの最大桁数を超えた番号でCTI発信した場合 使用中のアナログボートにCTI発信した場合 アナログボート番号を指定したあと、着番号を指定しないでCTI発信した場合 CTI発信からCTI呼出時間として設定されている時間内にアナログ通信機器のハンドセットを 取りあげない場合 データ通信のオンラインコマンドモードでCTI発信した場合 データ通信のオンラインコマンドモードでCTI発信を取り消した場合

CR | LF | ERROR | CR | LF

通知条件

アナログポート番号と着番号を指定しないでCTI発信した場合 アナログポート番号を指定しないでCTI発信した場合およびCTI発信を取り消した場合 アナログポート番号を1または2以外でCTI発信した場合およびCTI発信を取り消した場合 CTI発信した通話が終了する前にデータ通信で発信した場合 AT!Hコマンドのあとに他のATコマンドを続けて入力した場合 ・ER OFFフォーマット

CR	LF	ER_	_OFF_	_Т	アナログポート番号	CR	LF
----	----	-----	-------	----	-----------	----	----

通知条件

ER信号がOFFでCTI発信を行った場合

リティの活用

設定画面 の



イージーウィザードが イージーウィザードによって必要な ^{利用できないときは} ファイルがインストールできないときは

イージーウィザードによってドライバのインストールを行っているときに、下のよう な画面が出た場合は、イージーウィザードが利用できなくなっています。



(画面はWindows®の例です。)

その場合は、下の表でパソコンのOSと使用できるポートを確認のうえ、参照するページの手順に従って手動でインストールを行ってください。

Windows®

パソコンのOS	使用できるデータポート	接続と設定方法
Windows [®] XP	USBポート	P47
	RS-232Cポート	P53
Windows® Me	USBポート	P61
	RS-232Cポート	P100
Windows [®] 98 Second Edition	USBポート	P72
	RS-232Cポート	P100
Windows® 98	USBポート	P83
	RS-232Cポート	P100
Windows [®] 2000	USBポート	P107
	RS-232Cポート	P114
Windows NT [®] 4.0	RS-232Cポート	P122

Mac OS

パソコンのOS	使用できるデータポート	接続と設定方法	
Mac OS 8.6、9、9.1、9.2	USBポート	P129	
Mac OS 7.6、8.0、8.1、8.5、 8.6、9、9.1、9.2	RS-232Cポート	P135	

Mac OS Xでは、イージーウィザードを利用できませんので、接続と設定方法については、取扱説明書P58を ご覧ください。

ワンポイント

USBポートをご利用になるには

INSメイトFT80btのUSBポートに接続するパソコンは、以下の条件を備えている必要があります。パソコンのOSが対応していない場合は、OSのバージョンアップを行ってください。

●パソコンがUSBポートを備えていること

次のいずれかのOSがインストールされていること
 Windows[®] XP、Windows[®] 98、Windows[®] 98 Second Edition、Windows[®] Me、Windows[®] 2000、Mac OS 8.6、Mac OS 9、Mac OS 9.1、Mac OS 9.2、Mac OS X
 ご使用のOSを確認するには(~取扱説明書P43)

ィージーウィザードが Windows[®] XP**で** ^{利用できないときは} USB**ポートを使うには**

INSメイトFT80btのUSBポートとパソコンのUSBポートを接続して使うには、 次の手順が必要です。

付属のINSメイトFT80bt専用CD-ROMとWindows[®]のCD-ROMをご用意くだ さい。インストールの途中でWindows[®]のCD-ROMの挿入を求められたときは、 画面の指示に従って操作してください。

1 INSネット64回線に接続する(*取扱説明書P33)

INSメイトFT80btとパソコンは指示があるまで接続しないでください。

2 USBドライバをインストールする

USB ドライバをインストールする

1 パソコンの電源を入れる。 Windows[®]が起動することを確認します。

「INSメイトFT80btとパソコンをUSBケーブルで接続する。

[新しいハードウェアの検索ウィザード]画面が表示されます。



3[一覧または特定の場所からインス トールする]をチェックし、[次 へ>]をクリックする。

[USB Device]と表示されないときは、 [キャンセル]をクリックして画面を閉じて、 取扱説明書P223の操作によりUSBドライ バを削除したあと、手順1から操作し直して ください。 (次ページへ続きます)

sTOP お願い

ケーブルの接続は、パソコンの取扱説明書に従って正しく接続してください。 USBドライバをインストールする前に、ご使用のOSがWindows[®] XPであることを確認してください。 (*◆*取扱説明書P43) リティ の し

) 活テ 用ィ

沢 ソコンでの

通い信ろ機い

能ろ な

ATコマンド

設定記入シート

ィージーウィザードが Windows[®] XPで ^{利用できないときは} USB**ポートを使うには**

(前ページの続きです)



手順の途中で、右のような案内ページが起 動した場合は、[END]をクリックして案内 ページを閉じてください。



5 [次の場所で最適なドライバを検索 する]をクリックし、[次の場所を 含める]をチェックして、[参照] をクリックする。





[新しいハードウェアの検索ウィザード]画面が表示されない場合は 「Windows[®] でUSBドライバを使用できないときは」(*◆*取扱説明書P218)の症状の項目を参照してくだ さい。



画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。



(次ページへ続きます)

ィージーウィザードが Windows[®] XPで ^{利用できないときは} USB**ポートを使うには**

(前ページの続きです)

[INSメイトFT80bt USB]が表示されていることを確認し、[続行]をクリックする。
 OSとの互換性に関する警告が表示されますが、当社にて動作確認済みです。問題ありませんので、そのままインストールを続行してください。



10[完了]をクリックする。



11[スタート]ボタンをクリックし、 [コントロールパネル]をクリック する。





ィージーウィザードが Windows[®] XPで ^{利用できないときは} USB**ポートを使うには**

(前ページの続きです)



ィージーウィザードが Windows[®] XP**で** ^{利用できないときは} RS-232C**ポートを使うには**

INSメイトFT80btのRS-232CポートとパソコンのRS-232Cポート(シリアル ポート)を接続して使うには、次の手順が必要です。 付属のINSメイトFT80bt専用CD-ROMとWindows[®]のCD-ROMをご用意くだ さい。インストールの途中でWindows[®]のCD-ROMの挿入を求められたときは、 画面の指示に従って操作してください。

- 1 INSネット64回線に接続する(*****取扱説明書P33)
- 2 RS-232Cポートに接続する

INSメイトFT80btとパソコンをRS-232Cケーブルで接続してください。

3 モデム定義ファイルをインストールする

RS-232Cポートに接続する

┃ パソコンの電源を切る。

2 付属ケーブルでINSメイトFT80btのRS-232CポートとパソコンのRS-232Cポートをつなぐ。





リティの活用

沢 ソコンでの

通い 信ろ 機い

能ろな

ATコマンド

ィージーウィザードが ^{利用できないときは} RS-232C**ポートを使うには**

モデム定義ファイルをインストールする

1 パソコンの電源を入れ、FT80bt 専用CD-ROMをCD-ROMドライ ブにセットする。

手順の途中で、右のような案内ページが起動した場合は、[END]をクリックして案内ページを閉じてください。



2 [スタート]ボタンをクリックして、 [コントロールパネル]をクリック する。



💵 お知らせ

画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

3 [プリンタとその他のハードウェ ア] をクリックする。

右のように表示されていない場合は、[カテ ゴリの表示に切り替える]をクリックし、 右のような表示に切り替えます。



4 [コントロールパネルを選んで実行 します]にある[電話とモデムの オプション]アイコンをクリック する。

[所在地情報]が表示された場合は、[市外局番/エリアコード]に市外局番を入力し、 [OK]をクリックします。



5[モデム]をクリックする。

本商品を接続したポートに他のモデムがセッ トアップされている場合は削除してくださ い。

これまで、モデムがセットアップされていな かったときなどは、右の画面が表示されずに 「新しいモデムのインストール」画面が表示 されますので、手順7へ進みます。



ィージーウィザードが Windows[®] XP**で** ^{利用できないときは} RS-232C**ポートを使うには**

(前ページの続きです)



このドライバはデジタル署名されています。 ドライバの署名が重要な理由 ディスク使用(日)

< 戻る(B) 次へ(N)> キャンセル

9[参照]をクリックする。	フロッピー ディスクからインストール 区 のから ゆの ティスクか しょう マンストール (国内)	リティの活用
	そのまたが、 の への そのまたが、 の くの そのまたが、 の その その その </th <th>パソコンでの の</th>	パソコンでの の
10[ファイルの場所]の■をクリック し、一覧からCD-ROMドライブを 選択する。	ファイルの場所 アマイルの場所 ファイルの場所 ● FT80bt (E) ACROBATA ● 最近使-たファイル ● 最近使-たファイル ● 日本 ● ACROBATA ● 見近使-たファイル ● STADer7 ● イト ● イト ● フルドノーク ● SSB ● ST-ア・ク ● UTILITY ● コーカル ディスク (C) ● ローカル ディスク (C) ● ローカル ディスク (C) ● マイ ホトワーム ● マイ ホトワーム ● Tople Tople Tople ● マイ ホトワーム	通信機能 るいろな
	77イルの推奨(): セットアップ情報 (*m) 2 ギャンセル	でザイ きーー
11 [utility] フォルダをダブルクリック する。	ファイルの場所 ファイルの場所の ACROBAT4 Adspter Manual	ないどう いが利用 ときは
	しUSB しUTILITY アナイル名型 AUTORUNINF アナイルの種類①: セットアップ情報(+ anl)	A H コアンド
12 [win2k] フォルダをダブルクリックし、[開く] をクリックする。		設定記入シート
	アケイル名型・ MDMFT805.INF 開気の アケイルの種類型・ セットアップ情報(kinf) キャンセル	

ィージーウィザードが Windows[®] XP**で** ^{利用できないときは} RS-232C**ポートを使うには**

(前ページの続きです)



^{▼●} インストールするCOMポートを選 択し、「次へ >]をクリックする。



16[INSメイトFT80bt]と表示され ていることを確認し、[続行]をク リックする。

> OSとの互換性に関する警告が表示されます が、当社にて動作確認済みです。問題あり ませんので、そのままインストールを続行 してください。





(次ページへ続きます)

ィージーウィザードが Windows[®] XP**で** ^{利用できないときは} RS-232C**ポートを使うには**

(前ページの続きです)



以上でインストールは完了です。



引き続き、以下の手順に進みます。
 ・インターネットに接続する(別冊「インターネット接続ガイド」参照)
 ・設定ユーティリティの利用(

ィージーウィザードが Windows[®] Me**で** ^{利用できないときは} USB**ポートを使うには**

INSメイトFT80btのUSBポートとパソコンのUSBポートを接続して使うには、 次の手順が必要です。

付属のINSメイトFT80bt専用CD-ROMとWindows®のCD-ROMをご用意くだ さい。インストールの途中でWindows®のCD-ROMの挿入を求められたときは、 画面の指示に従って操作してください。

- INSネット64回線に接続する(◆取扱説明書P33)
 INSメイトFT80btとパソコンは指示があるまで接続しないでください。
- 2 USBドライバをインストールする
- 3 モデム定義ファイルをインストールする

USB ドライバをインストールする

1 パソコンの電源を入れる。 Windows®が起動することを確認します。

(次ページへ続きます)

ワンポイント

[新しいハードウェアの追加ウィザード]画面が表示されない場合は 「Windows[®]でUSBドライバを使用できないときは」(*◆*取扱説明書P218)の症状の項目を参照してください。

お知らせ

[INSメイトFT80bt USB SYNC]から[INSメイトFT80bt USB MP]に変更する場合、または[INS メイトFT80bt USB MP]から[INSメイトFT80bt USB SYNC]に変更する場合は、「不要になった USBドライバを削除するには」(←取扱説明書P223)の手順に従って、それまでのUSBドライバを削除 してから再びインストールを行ってください。

OSをWindows[®] 98からWindows[®] Meにアップグレードした場合は、「不要になったUSBドライバを 削除するには」(*w*取扱説明書P223)の手順に従って、それまでのUSBドライバを削除してから、 Windows[®] Me用USBドライバのインストールを行ってください。 画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

お願い STOP

ケーブルの接続は、パソコンの取扱説明書に従って正しく接続してください。 USBドライバをインストールする前に、ご使用のOSがWindows® Meであることを確認してください。 (*◆*取扱説明書P43) ATコマンド

リティ の リティの

) 活テ 用 イ

設定 画面 の

通い

信 機 能 ろ い ろ な



(前ページの続きです)

2 INSメイトFT80btとパソコンをUSBケーブルで接続する。

[新しいハードウェアの追加ウィザード]画面が表示されます。



3 [ドライバの場所を指定する(詳し い知識のある方向け)]をクリック し、[次へ>]をクリックする。 [USBDevice]と表示されないときは、 [キャンセル]をクリックして画面を閉じて 取扱説明書P223の操作により、USBドラ イバを削除したあと、手順1から操作し直し ます。



4 [使用中のデバイスに最適なドライ バを検索する(推奨)]をクリック する。



5 INSメイトFT80bt専用CD-ROM をCD-ROMドライブにセットす る。

手順の途中で、右のような案内ページが起動した場合は、[END]をクリックして案内ページを閉じてください。

6 [検索場所の指定]のみをチェック して[参照]をクリックする。 [リムーバブルメディア(フロッピー、CD-ROMなど)]がチェックされている場合は、 必ずチェックを外してください。



取扱説明書

インターネット 接続ガイド

パソコン活用語

©ntt

ユーティリティの インストール

FT80btアダプタの インストール CD-ROM

本電子取錄說的書

INSメイト FT80bt

ヤレスセット 専用 CD-ROM

CD-ROMの [USB] フォルダの中 の [WINME] フォルダをクリック し、[OK] をクリックする。

[WINME] フォルダが表示されていない場合 は、[USB]の左にある + アイコンをクリッ クします。



リティの活用

設定画面 の

通い

信ろ機い

能ろな

ATコマンド

設定記入シー

ィージーウィザードが Windows[®] Meで ^{利用できないときは} USB**ポートを使うには**

(前ページの続きです)

📿 [次へ >] をクリックする。



9 [NTTEAST/NTTWEST INSメイ トFT80bt]が表示されていること を確認し、[次へ>]をクリックす る。

ここで、Windows®のCD-ROMを入れるように画面が表示された場合は、指示に従って CD-ROMを入れ替えてください。

「このデバイス用のドライバが見つかりません」と表示されたときは「Windows® で USBドライバを使用できないときは」(*w*取扱説明書P218)をご覧ください。

10[完了]をクリックする。

モデムのインストールが自動的に開始され、 [新しいハードウェアの追加ウィザード]画 面が表示されます。



新しいハードウェアの追加ウィザー	7
	NTTEAST/NTTWEST INS///FT80bt
	新しいハードウェアのインストールが完了しました。
8	
	₩7
	(戻る(B) (元7) キャンセル

同期64 kbit/s(モP30)のモデム定義ファイルをインストールします。マルチリンク128 kbit/s (◆P30)のアクセスポイントへ接続する場合は、手順4のあと「マルチリンク128Kのモデム定義ファイ ルをインストールする」(●P70)へお進みください。

モデム定義ファイルをインストールする



の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストール ミライバを遵护する(D)

〈 戻る(日) 次へ 〉 キャンセル

リティの

) 活テ 用ィ

ィージーウィザードが Windows[®] Me**で** ^{利用できないときは} USB**ポートを使うには**

(前ページの続きです)

[次へ>]をクリックする。



- INSメイトFT80bt USB SYNC] と表示されていることを確認する。 ご利用になる通信モード(デP30)に合わ せて、モデム定義ファイルを選択すること ができます。

 ・同期64 kbit/sのアクセスポイントへ接
 - 続するとき
 - [INSメイトFT80bt USB SYNC]
 - •MP128 kbit/sのアクセスポイントへ接 続するとき

[INSメイトFT80bt USB MP]
 [INSメイトFT80bt USB MP]を選択する
 場合は、「マルチリンク128Kのモデム定義
 ファイルをインストールする」(*P70)へ

お進みください。

5 [INSメイトFT80bt USB SYNC] を選択する場合は[次へ>]をク リックする。

305デバイスで機能する排動のソフトウェアが見っかりました。 20ドライバをインストールしますか? 運動したソフトウェア (確認の) INSメイトFTB0br USB SYNC ほかのソフトウェ (まかのソフトウェ
< 戻る(B) 次へ > キャンセル

新しんソハードウェアの追加ウィザード





ィージーウィザードが Windows[®] Meで ^{利用できないときは} USB**ポートを使うには**

(前ページの続きです)



手順10のように表示されている場合は、この操作は不要です。



10[システム]アイコンをダブルクリッ クする。

■1214-1-0134 ファイル(E) 編集(E) 表示(M) :	s気に入り(A) 己フォルダ (3	ッール① へ)履歴 『詰『	1月1日 名 × 20月			
7862200 (m) 2010-16 1/24	Find Fast	00BC 2-9		97 128-7.9h	<u>ح</u> ۲-۳-۴	@移動
コントロール バネル コントロール パネルを使うと、コンピュータ の設定を好みに応じて変更できます。	H-4,7791	サウンドとマル サウンドとマル	9755L	オプジョン ごの スキャナとカメラ	ダイヤルアップ ネットワーク	
ALIGHTSGL/ビール/AAR04/22 主と変更示する。 アイエンを選択すると、その説明が表示さ れます。 Windows Undate	5 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	1000 2015-と「 2015-と「		A-9	い-ドウェアの iBhn	
製品サポート情報	129-1	- M 7#1/8 12	人名 フォント	29 29	२ ७२	
	Д х-н	ي tf4	2-7-	<u>と</u> ユーザー補助	N	
31 個のオブジャクト	自動アップデー	اللائل	елови	日付と時刻	変換中の文字 31/n曲	



以上でインストールは完了です。





引き続き、以下の手順に進みます。 ・インターネットに接続する(別冊「インターネット接続ガイ ド」参照)

・設定ユーティリティの利用(≪取扱説明書P64)

ィージーウィザードが Windows[®] Me**で** ^{利用できないときは} USB**ポートを使うには**

マルチリンク128Kのモデム定義ファイルをインストールする

マルチリンク128 kbit/s (~P30) のアクセスポイントに接続する場合は、同期64 kbit/s (~P30) の代わりにマルチリンク128 kbit/sのモデム定義ファイルをインストールします。「モデム定義ファイ ルをインストールする」の手順4 (~P66) のあと、次の操作を行います。

1 [ほかのソフトウェア]を選択する。 手順2の画面が表示されます。表示されない 場合は、画面右側の[一覧の表示]をクリッ クします。



2[INSメイトFT80bt USB MP] を選択し、[OK]をクリックする。

ほかのドライバの選択	×
インストールするドライバを選択してください。	
ドライバの決想用 場所 NSKANAROUTUUSENTA FAUSBANDMFT80UINF	ドライバの日付 ドライバのプロバイダ 5-9-2001 NTTEAST/NTTWEST
	2
Ŭ	r3
	OK *+>tzı

♀[次へ>]をクリックする。







ィージーウィザードが Windows[®] 98 Second Editionで ^{利用できないときは} USB**ポートを使うには**

INSメイトFT80btのUSBポートとパソコンのUSBポートを接続して使うには、次の手順が必要です。

付属のINSメイトFT80bt専用CD-ROMとWindows®のCD-ROMをご用意くださ い。インストールの途中でWindows®のCD-ROMの挿入を求められたときは、画面 の指示に従って操作してください。

- INSネット64回線に接続する(●取扱説明書P33)
 INSメイトFT80btとパソコンは指示があるまで接続しないでください。
- 2 USBドライバをインストールする
- 3 モデム定義ファイルをインストールする

USB ドライバをインストールする

パソコンの電源を入れる。 Windows®が起動することを確認します。

2 INSメイトFT80btとパソコンをUSBケーブルで接続する。 [新しいハードウェアの追加ウィザード]画面が表示されます。





ワンポイント

[新しいハードウェアの追加ウィザード]画面が表示されない場合は 「Windows[®]でUSBドライバを使用できないときは」(◆取扱説明書P218)の症状の項目を参照してください。

🌒 お知らせ

[INSメイトFT80bt USB SYNC]から[INSメイトFT80bt USB MP]に変更する場合、または[INS メイトFT80bt USB MP]から[INSメイトFT80bt USB SYNC]に変更する場合は、「不要になった USBドライバを削除するには」(一取扱説明書P223)の手順に従って、それまでのUSBドライバを削除 してから再びインストールを行ってください。 画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。



ケーブルの接続は、パソコンの取扱説明書に従って正しく接続してください。 USBドライバをインストールする前に、ご使用のOSがWindows[®] 98 Second Editionであることを 確認してください。(*◆*取扱説明書P43)


ィージーウィザードが Windows[®] 98 Second Editionで ^{利用できないときは} USB**ポートを使うには**

(前ページの続きです)





7 CD-ROMの [Usb] フォルダの中 の [Win98se] フォルダをクリッ クし、[OK] をクリックする。 [Win98se] フォルダが表示されていない 場合は、[Usb] の左にある + アイコンをク リックします。



♀[次へ>]をクリックする。





ィージーウィザードが Windows[®] 98 Second Editionで ^{利用できないときは} USB**ポートを使うには**

(前ページの続きです)

モデム定義ファイルをインストールする

同期64 kbit/s(*P30)のモデム定義ファイルをインストールします。マルチリンク128 kbit/s (*P30)のアクセスポイントへ接続する場合は、手順4のあと「マルチリンク128Kのモデム定義ファイ ルをインストールする」(*P81)へお進みください。

新しいハードウェアの追加ウィザー

┩[次へ>]をクリックする。

スの新しいドライバを検索しています: 不可なデバイス デバイストライバは、ハードウエアデバイスが動作するために必要なソ フトウエアです。 く 550 次へろ キャンセル

前ページの手順10でCD-ROMを入れ替え た場合は、再びINSメイトFT80bt専用CD-ROMに入れ替えてください。その際、右の ような案内ページが起動した場合は、[END] をクリックして案内ページを閉じてください。



2 [使用中のデバイスに最適なドライ バを検索する(推奨)]をクリック し、[次へ>]をクリックする。



リティの活用

設定 画面 の

通信機能



キャンセル

ATコマンド

3 [検索場所の指定]に [Usb¥Win98SE]と表示されていることを確認し、[次へ>]をクリックする。



どのドライバをインストールしますか?

< 戻る(B)

 更新されたドライバ (推奨)(丁) INSメイトFT80bt USB SYNC

○ ほかのドライバ(0)

このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました。このデバイスで 動作するドライバはほかにもあります。

次ヘン

新しいハードウェアの追加ウィザ、

- 4 [INSメイトFT80bt USB SYNC] と表示されていることを確認する。 ご利用になる通信モード(モP30)に合わせて、モデム定義ファイルを選択することができます。 ・同期64 kbit/sのアクセスポイントへ接続するとき 「INSメイトFT80bt USB SYNC]
 - MP128 kbit/sのアクセスポイントへ接続するとき
 - [INSメイトFT80bt USB MP]
 - [INSメイトFT80bt USB MP]を選択する 場合は、「マルチリンク128Kのモデム定義 ファイルをインストールする」(♥P81)へ お進みください。
- 5 [INSメイトFT80bt USB SYNC] を選択する場合は[次へ>]をク リックする。



イージーウィザードが Windows[®] 98 Second Editionで 利用できないときは USBポートを使うには

(前ページの続きです)



8 [スタート]ボタンをクリックし、 [設定] - [コントロールパネル] をクリックする。





設定記入シート

ィージーウィザードが Windows[®] 98 Second Editionで ^{利用できないときは} USB**ポートを使うには**

(前ページの続きです)



12 CD-ROMドライブからCD-ROM を取り出す。

以上でインストールは完了です。





マルチリンク128Kのモデム定義ファイルをインストールする

マルチリンク128 kbit/s (#P30) のアクセスポイントに接続する場合は、同期64 kbit/s (#P30) の代わりにマルチリンク128 kbit/sのモデム定義ファイルをインストールします。「モデム定義ファイ ルをインストールする」の手順4(#P77)のあと、次の操作を行います。



リティの活用

ィージーウィザードが Windows[®] 98 Second Editionで ^{利用できないときは} USB**ポートを使うには**

(前ページの続きです)





INSメイトFT80btのUSBポートとパソコンのUSBポートを接続して使うには、 次の手順が必要です。 付属のINSメイトFT80bt専用CD-ROMとWindows®のCD-ROMをご用意くだ さい。インストールの途中でWindows®のCD-ROMの挿入を求められたとき は、画面の指示に従って操作してください。

- INSネット64回線に接続する(◆取扱説明書P33)
 INSメイトFT80btとパソコンは指示があるまで接続しないでください。
- 2 USBドライバをインストールする
- 3 COMドライバをインストールする
- 4 モデム定義ファイルをインストールする

USB ドライバをインストールする

パソコンの電源を入れる。

Windows®が起動することを確認します。

2 INSメイトFT80btとパソコンをUSBケーブルで接続する。 [新しいハードウェアの追加ウィザード]画面が表示されます。



(次ページへ続きます)

ATコマンド

設定画面 の

通信機能な

クリンポイント

[新しいハードウェアの追加ウィザード]画面が表示されない場合は

「Windows[®]でUSBドライバを使用できないときは」(*~*取扱説明書P218)の症状の項目を参照してください。

イージーウィザードが Windows[®] 98で 利用できないときは USBポートを使うには

(前ページの続きです)



Device]などと表示される場合もあります。

新しいハードウェアの追加ウィザ 欠の新しいドライバを検索しています USB 互換デバイス デバイス ドライバは、ハードウェア デバイスが動作するために必要なソ

キャンヤル

キャンセル

覧を作成し、インス

T

〈 戻る(日)

/ [使用中のデバイスに最適なドライ 新しいハードウェアの追加ウィザ 検索方法を選択してください。 バを検索する(推奨)]をクリック ● 使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨) し、[次へ>]をクリックする。 特定の場所にあるすべ トールするドライバを選

n)))))

お知らせ

画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。



ケーブルの接続は、パソコンの取扱説明書に従って正しく接続してください。 USBドライバをインストールする前に、ご使用のOSがWindows[®] 98であることを確認してください。 (取扱説明書P43)



手順の途中で、右のような案内ページが起動した場合は、[END]をクリックして案内ページを閉じてください。





取扱説明書

インターネット 接続ガイド

バソコン活用# 参考情報

*uuu*nsss

Ontt (

ユーティリティの インストール

FT80btアダプタの インストール CD-ROM

INSメイトFT80bt

ヤレスセット

専用 CD-ROM

CD-ROMの [Usb] フォルダの中 の [Win98] フォルダをクリック し、[OK] をクリックする。

[Win98] フォルダが表示されていない場合 は、[Usb]の左にある + アイコンをクリッ クします。



リティの活用

設定画面 の

通い信ろ機

能ろな

ATコマンド

設定記入シー

(前ページの続きです)

[次へ>]をクリックする。 「このデバイス用のドライバが見つかりません」と表示されたときは「Windows®でUSBドライバを使用できないときは」(~取扱説明書P218)をご覧ください。



9 [更新されたドライバ(推奨)]を クリックし、[次へ>]をクリック する。



10[INSメイトFT80bt USB]が表 示されていることを確認し、[次 へ>]をクリックする。



11[完了] をクリックする。	<mark>ነќしሩህን-ዮኃኒፖሪንጀታለግታ-ዮ</mark> እፍታለችቶፕየዕታ USB	リティの活用
	新しいトーやユア デバイスに必要なソフトウエアがインストールを作ました。	設定画面 の
12[スタート]ボタンをクリックして [設定] - [コントロールパネル] をクリックする。	(元2)日 元1 449년// ● 10/54(日) ● 10/54	通信機能 な
		できないときは ザードが利用
13 [システム]アイコンをダブルクリッ クする。	Windows の終了 (U). (23-24-1) (23 (23 (24)) (25 (24)	A F コアンド
		設定記入シート
	ラレフォニー ネットワーク ハトラウェアの パスワード ブラニカル・サポート アオント アメント アウス ・	

(前ページの続きです)

14[デバイスマネージャ]をクリック する。



15 [ユニバーサルシリアルバスコント ローラ]内に[INSメイトFT80bt USB]が表示されていることを確 認し、[キャンセル]をクリックす る。

[ユニバーサルシリアルバスコントローラ] の下に何も表示されない場合は、左側の+ アイコンをクリックします。



リティの活用 設定ユー ティ

COM ドライバをインストールする

1 コントロールパネルの[ハードウェ アの追加]アイコンをダブルクリッ クする。

[新しいハードウェアの追加ウィザード]画 面が表示されます。



2[次へ>]をクリックする。



3[次へ>]をクリックする。



ATコマンド

設定記入シート

(前ページの続きです)





5 [いいえ(一覧から選択する)]を クリックし、[次へ>]をクリック する。



6 [ポート (COM/LPT)] をクリッ クし、 [次へ >] をクリックする。



7[ディスク使用]をクリックする。

所しいハードウェアの追加ウィザード	
ハードウェアの製造元とモデル 一覧にない場合。またはイン たざい。それでも表示されない	↓を選んでください。 (ストール・ディスクをお持ちの場合は、「ディスク使用」をグリックしてく)が場合は、「戻る」をグリックして別の種類を選択してください。
製造元(M): 位置変統(第第 AWA BUG Hewlett Packard NEC	モデル(D) EC2 20 20 水ート 20 20 スート 通信ホート
	ディスグ使用(y). < 戻る(g) 次へ > キャンセル







(次ページへ続きます)

OK

印刷(N

削除(E)



(前ページの続きです)

モデム定義ファイルをインストールする

1 INSメイトFT80bt専用CD-ROM をCD-ROMドライブにセットする。

手順の途中で、右のような案内ページが起動した場合は、[END]をクリックして案内ページを閉じてください。



2[スタート]ボタンをクリックして、 [設定] - [コントロールパネル] をクリックする。





(次ページへ続きます)

(前ページの続きです)

6 [ハードウェアウィザードを実行し ない]をチェックし、[次へ>]を クリックする。 ここで手順7の画面が表示された場合は、手 順7へ進みます。



7 [モデムを一覧から選択するので検 出しない]をチェックして、[次 へ>]をクリックする。



📿 [ディスク使用] をクリックする。

モデムの製造元とモデルを進 入りをお持ちの場合は、ビイ	【んでください。モデムが一覧にない場合、 スク使用】をクリックしてください。	またはインストール ディ
製造元(M): <mark>(VoiceV cm⁻+テ</mark> 人の)注意 第 SCom 3X Accton Technology Corporatic Aceex ▲	モデル(L): VoiceView 19200 bps モデム VoiceView 20200 bps モデム VoiceView 20200 bps モデム VoiceView 9600 bps モデム	ß
	〈 戻る(8) / 次へ 〉	ディスク使用(出) キャンセル

●[参照]をクリックする。





(前ページの続きです)

14 [モデムを接続するポート]の中か ら、[INSメイトFT80bt COM] をクリックし、[次へ>]をクリッ クする。

[所在地情報]画面が表示された場合は、ご使用環境に合わせて正しく設定してください。

新しいモデムのインストール	280764 T == 1
11-11-11-11	INSX/FT80bt MP
	モデムを接続するボート: INS/(IFT80bt COM (COM4) プロング ボート (IPT)
	0 2
	ľ ľŽ
	(戸ス(四) 「なん」 たい、セルー
	1, Heand 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1,

15[完了]をクリックする。

新しいモデムのインストール	
	モデムは正常にセットアップされました。
	設定を実更する場合は、コントロールノイネルの「モデム」でこの モデムを選択し、「プロパティ)をジッククして伏さい。
	く (月3位) (月3) (月3

16[ダイヤルのプロパティ]をクリッ クする。

モデムのプロパティ <u>?</u>	×
全般 検出結果	
炎 次のモデムがセットアップされています。	
INSX1FT8061 MP INSX1FT8061 SYNC	
適加(A) 削除(E) ブロパティ(B) ダイヤル方法	
ダイヤル元:新しい場所 ダイヤル方法を変更するには、区グのプロパティ]をクリックしてく たさい。	
<u>ダイヤルのプロパティ(D)</u>	
閉じるキャンセル	

17[所在地情報]をご使用環境に合わせ て正しく設定し、「OK]をクリック する。

「登録名」には使用する場所などの名称を入 力します。



18[モデムのプロパティ]画面に戻る ので [閉じる]をクリックする。 「閉じる」は「OK」と表示される場合もあ ります。









引き続き、以下の手順に進みます。 ・インターネットに接続する(別冊「インターネット接続ガイド」参照) ・設定ユーティリティの利用(≪取扱説明書P64)

ATコマンド

イージーウィザードが ^{利用できないときは} 98**で**RS-232C**ポートを使うには**

INSメイトFT80btのRS-232CポートとパソコンのRS-232Cポート(シリアルポート)を接続して使うには、次の手順が必要です。

付属のINSメイトFT80bt専用CD-ROMとWindows®のCD-ROMをご用意ください。 インストールの途中でWindows®のCD-ROMの挿入を求められたときは、画面の指示 に従って操作してください。

操作手順、画面はWindows[®] Meの例です。Windows[®] 98 Second Edition、 Windows[®] 98でも同様の手順で行うことができます。

- 1 INSネット64回線に接続する(*****取扱説明書P33)
- 2 RS-232Cポートに接続する INSメイトFT80btとパソコンをRS-232Cケーブルで接続してください。
- 3 モデム定義ファイルをインストールする

RS-232Cポートに接続する

┩ パソコンの電源を切る。

2 付属ケーブルでINSメイトFT80btのRS-232CポートとパソコンのRS-232Cポートをつなぐ。





画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。



ケーブルの接続はパソコンの取扱説明書に従って正しく接続してください。 RS-232Cケーブルを接続するときは、コネクタの方向に注意して挿入し、両端のネジを回して固定して ください。 RS-232Cポートが25ピンの場合、またはノートパソコンなどで特殊な形状のコネクタの場合は、変換 コネクタまたはケーブルをお客様でご用意ください。

モデム定義ファイルをインストールする パソコンの電源を入れ、INSメイトFT80bt専用CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。 手順の途中で、右のような案内ページが起

手順の途中で、右のような案内ページが起動した場合は、[END]をクリックして案内ページを閉じてください。

2[スタート]ボタンをクリックして、 [設定] - [コントロールパネル] をクリックする。



取扱説明書

インターネット 接続ガイド

参考情報

END

ユーティリティの インストール

FTBObtアダプタの インストール

3 Windows[®] Meの場合は、[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する]をクリックする。 手順4のように表示されている場合は、この操作は不要です。



リティの活用

設定画面 の

通い

に合機能な

ATコマンド

設定記入シー

専用 CD-ROM

Windows[®] Me/98 Second Edition/ イージーウィザードが 利用できないときは 98でRS-232Cポートを使うには

(前ページの続きです)

クする。



🗲 [追加]をクリックする。 「新しいモデムのインストール」画面が表示さ れます。

表示されたところへ進みます。



6 右の画面が表示された場合は、「そ の他1をクリックし、「次へ>1を クリックする。

デスクトップパソコンの場合、右の画面が 表示されずに手順7または手順8の画面が表 示されることがあります。

その場合は、表示された画面の手順へ進み ます。

新しいモデムのインストール インストールするモデムの種類を選んでください。 ○ PCMCIA モデム カード(P) その他(0) キャンセル



(次ページへ続きます)

ィージーウィザードが Windows[®] Me/98 Second Edition/ ^{利用できないときは} 98**で**RS-232C**ポートを使うには**

(前ページの続きです)

11 [ドライブ] の ■をクリックし、 一覧からCD-ROMドライブを選択 する。







13 [製造元ファイルのコピー元] に [UTILITY] が表示されているの を確認し、[OK] をクリックする。 Windows[®]98、Windows[®]98 Second Editionの場合は、[配布ファイル先のコピー 元] と表示されます。



- 14 次のいずれかをクリックし、[次 へ>]をクリックする。 ご利用になる通信モード(←P30)に合わ せて、モデム定義ファイルを選択してくだ さい。 ●同期64 kbit/sのアクセスポイントへ接
 - ●同期64 kbit/sのアクセスボイントへ接 続するとき
 - [INSメイトFT80bt SYNC]
 - MP128 kbit/sのアクセスポイントへ接続するとき





リティの活用 15[モデムを接続するポート]の中か 新しいモデムのインストール 選択されたモデム: INSメイトFT80bt MP ら、INSメイトFT80btを接続し たポートをクリックし、「次へ> 1 設定画面 の モデムを接続するポート プリンタ ボート (LPT) 自己が当ちの Mil をクリックする。 「所在地情報」画面が表示された場合は、ご 使用環境に合わせて正しく設定してくださ 11. < 戻る(B) キャンセル 通信機能 16[完了]をクリックする。 新しいモデムのインストール モデムは正常にセットアップされました。 設定を変更する場合は、コントロール パネルの [モデム] でこの モデムを選択し、[フロパティ] をクリックしてください。 **17**[ダイヤルのプロパティ]をクリッ クする。 モデムのプロパティ ? × ATコマンド 全般 検出結果 次のモデムがセットアップされています。 💮 INS서 FT806t MP INSX//FT80bt SYNC 削除(<u>E</u>) プロパティ(R) 追加(<u>A</u>). 設定記入シー ダイヤル方法 ダイヤル元:新しい場所 ダイヤル方法を変更するには、「ダイヤルのプロパティ] をクリックしてく ださい。 ダイヤルのプロパティ(D)

閉じる

イージーウィザードが Windows[®] Me/98 Second Edition/ ^{利用できないときは} 98**で**RS-232C**ポートを使うには**

(前ページの続きです)

(1)? X 所在地情報 て正しく設定し、「OK]をクリック 登録名(<u>D</u>): する。 Default Location 新規(N)... 削除(E) 国名/地域()): 市外局番(<u>C</u>): 「登録名」には使用する場所などの名称を入 日本 力します。 所在地からの通話 外線発信番号: 市内通睡 市外通話 ▼ キャッチホン機能を解除する番号(W): -ダイヤル方法: ● トーン① C パルス(P) □ 長距離通話に使用する通話カード(U): -変更(G)... 適用(A) OK キャンセル 10[モデムのプロパティ]画面に戻る モデムのプロパティ ? × ので、「閉じる」をクリックする。 全般 | 検出結果 | 「閉じる」は「OK」と表示される場合もあ 次のモデムがセットアップされています。 ります。 INSX/1FT80bt MP INSX/1FT80bt SYNC 追加(A). 削除(E) プロパティ(<u>R</u>) ダイヤル方法 ダイヤル元:新しい場所 ダイヤル方法を変更するには、「ダイヤルのプロパティ」をクリックしてく ださい。 ダイヤルのプロパティ(D



引き続き、以下の手順に進みます。 ・インターネットに接続する(別冊「インターネット接続ガイド」参照) ・設定ユーティリティの利用(◆取扱説明書P64)

閉じる

キャンセル

イージーウィザードが ^{利用できないときは} USB**ポートを使うには**

INSメイトFT80btのUSBポートとパソコンのUSBポートを接続して使うには、 次の手順が必要です。

付属のINSメイトFT80bt専用CD-ROMとWindows[®]のCD-ROMをご用意くだ さい。インストールの途中でWindows[®]のCD-ROMの挿入を求められたときは、 画面の指示に従って操作してください。

1 INSネット64回線に接続する(*取扱説明書P33)

INSメイトFT80btとパソコンは指示があるまで接続しないでください。

2 USBドライバをインストールする

USB ドライバをインストールする

1 パソコンの電源を入れる。 Windows[®]が起動することを確認します。

⑦ INSメイトFT80btとパソコンをUSBケーブルで接続する。

[新しいハードウェアの検索ウィザード]画面が表示されます。



?[次へ>]をクリックする。



(次ページへ続きます)

の お願い

ケーブルの接続は、パソコンの取扱説明書に従って正しく接続してください。 USBドライバをインストールする前に、ご使用のOSがWindows[®] 2000であることを確認してくださ い。(*◆*取扱説明書P43) リティの活用

設定画面 の

通い信ろ

能ろ な

ATコマンド

設定記入シート

(前ページの続きです)





5 INSメイトFT80bt専用CD-ROM をCD-ROMドライブにセットす る。

手順の途中で、右のような案内ページが起動した場合は、[END]をクリックして案内 ページを閉じてください。





[新しいハードウェアの検索ウィザード]画面が表示されない場合は 「Windows[®] でUSBドライバを使用できないときは」(★取扱説明書P218)の症状の項目を参照してくだ さい。



画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。


設定記入シート

イージーウィザードが Windows[®] 2000で ^{利用できないときは} USB**ポートを使うには**

(前ページの続きです)

9 [USB] フォルダをダブルクリック し、[Win2k] フォルダをクリック し、[開く]をクリックする。



10[MDMFT802]をクリックし、 [開く]をクリックする。



11 [製造元のファイルのコピー元] に [USB ¥ WIN2K] が表示されてい ることを確認し、[OK] をクリッ クする。



12[次へ>]をクリックする。 「このデバイス用のドライバが見つかりません」と表示されたときは「Windows®でUSB ドライバを使用できないときは」(*平*取扱説 明書P218)をご覧ください。

新しいハードウェアの検出ウィザード	
ドライバ ファイルの検索 ハードウェア デバイスのドライバ ファイル検索が終了しました。	
2 USB Device	
このデバイスのドライバが見つかりました。このドライバをインストールするには、D太へJ をクリックしてくださ い。 	
e¥win2k¥mdmft802.inf	
¹ 3	
〈戻る(B) (次大人(D)) キャンセル	_



イージーウィザードが Windows[®] 2000で ^{利用できないときは} USB**ポートを使うには**

(前ページの続きです)



17[ハードウェア]をクリックする。





ィージーウィザードが ^{利用できないときは} RS-232C**ポートを使うには**

INSメイトFT80btのRS-232CポートとパソコンのRS-232Cポート(シリアルポート)を接続して使うには、次の手順が必要です。 付属のINSメイトFT80bt専用CD-ROMとWindows[®]のCD-ROMをご用意ください。インストールの途中でWindows[®]のCD-ROMの挿入を求められたときは、画面の指示に従って操作してください。

- 1 INSネット64回線に接続する(*取扱説明書P33)
- 2 RS-232Cポートに接続する

INSメイトFT80btとパソコンをRS-232Cケーブルで接続してください。

3 モデム定義ファイルをインストールする

RS-232Cポートに接続する

┫ パソコンの電源を切る。

2 付属ケーブルでINSメイトFT80btのRS-232CポートとパソコンのRS-232Cポートをつなぐ。





STOP お願い

ケーブルの接続はパソコンの取扱説明書に従って正しく接続してください。 RS-232Cケーブルを接続するときは、コネクタの方向に注意して挿入し、両端のネジを回して固定して ください。 RS-232Cポートが25ピンの場合、またはノートパソコンなどで特殊な形状のコネクタの場合は、変換 コネクタまたはケーブルをお客様でご用意ください。



))))) お知らせ

画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

ィージーウィザードが Windows[®] 2000**で** ^{利用できないときは} RS-232C**ポートを使うには**

(前ページの続きです)

3 [電話とモデムのオプション]アイ コンをダブルクリックする。

[所在地情報]が表示された場合は、[市外局番/エリアコード]に市外局番を入力し、 [OK]をクリックします。

園 コントロール パネル					
ファイル(E) 編集(E) 表示(Y)	お気に入り(A) 、	ツール(I) ヘルラ	(H)		(III)
←戻る - → - 国 ③検索	🖻 วรมดั 🔮	多履歴 📑 🖷	r×∞	≣ ,	
アドレス(ロ) 🖼 コントロール パネル				• e	診動
2-1-1	0	<u>s</u> p	S.	-71	
	タスク	ネットワークとダ イヤルアップ	ハードウェアの 追加と削除	フォルダ オプショ ン	
	A	3	Ø	۲	
コントロール パネルを使うと、コン ビュータの設定を好みに応じて変 軍できます。	フォント	プリンタ	マウス	x-11-	
アイコンを選択すると、その説明 が表示されます。		6	2		
Windows Update	7-1-677X	オプション	BIH	管理リール	
<u>Windows 2000 サポート</u>	3	ų	٩	믱	
	地域のオプショ ン	電源オブション	電話とモデムの オブション	日付と時刻	-
	13 mil			<u></u>	Ŧ
25 個のオブジェクト			밑ㅋ	パー・ピュータ	

▲ [モデム]をクリックする。

本商品を接続したポートに他のモデムがセットアップされている場合は削除してください。

これまで、モデムがセットアップされていな かったときなどは、右の画面が表示されずに 「新しいモデムのインストール」画面が表示 されますので、手順6へ進みます。

電話とモデムのオブション タイヤル情報 モデム 詳細 シートロート 沢してた 「指定 所在地(1):	2)2 した所在地が表示されています。ダイヤル元の所在地を選
所在地	市外局番
	03 新規(N). [編集(P). [新原金(D)
	OK 年秋之北 酒用(点)



ィージーウィザードが Windows[®] 2000**で** ^{利用できないときは} RS-232C**ポートを使うには**



ファイル名(N): ファイルの種類(T):

セット



ィージーウィザードが Windows[®] 2000**で** ^{利用できないときは} RS-232C**ポートを使うには**

(前ページの続きです)

16[完了]をクリックする。 選択したモデム定義ファイルが追加されて いることを確認してください。



17[ダイヤル情報]をクリックする。

電話とモデムのオプション	? 🗙
ダイヤル情報 モデム 詳	細]
075 LT	インストールされています(M):
モデム	接続先
INS///FT80bt	COM1
	2回加(Q) 自助後(R) プロパティ(P)
	OK キャンセル 連用(A)

18[所在地情報]をダブルクリックす る。

電話とモデムのオプション	<u>? ×</u>
ダイヤル情報 モデム 詳細	1
下の一覧には指定した所在地が表 択してください。	を示されています。ダイヤル元の所在地を選
所在地心:	
所在地	市外局番 _
の所在地情報	
4	
5	
, 至后非目 (N)	編集(F) 新聞金(D)
41196.00	
ОК	**ンセル 適用(金)



イージーウィザードが ^{利用できないときは} RS-232C**ポートを使うには**

INSメイトFT80btのRS-232CポートとパソコンのRS-232Cポート(シリアルポート) を接続して使うには、次の手順が必要です。Windows NT[®] 4.0では、USBをサポート していないので、USBポートにINSメイトFT80btを接続して使うことはできません。 付属のINSメイトFT80bt専用CD-ROMとWindows[®]のCD-ROMをご用意くださ い。インストールの途中でWindows[®]のCD-ROMの挿入を求められたときは、画面 の指示に従って操作してください。

- 1 INSネット64回線に接続する(~ 取扱説明書P33)
- 2 RS-232Cポートに接続する

INSメイトFT80btとパソコンをRS-232Cケーブルで接続してください。

3 モデム定義ファイルをインストールする

RS-232Cポートに接続する

┩ パソコンの電源を切る。

2 付属ケーブルでINSメイトFT80btのRS-232CポートとパソコンのRS-232Cポートをつなぐ。





5707 お願い

ケーブルの接続はパソコンの取扱説明書に従って正しく接続してください。 RS-232Cケーブルを接続するときは、コネクタの方向に注意して挿入し、両端のネジを回して固定して ください。 RS-232Cポートが25ピンの場合、またはノートパソコンなどで特殊な形状のコネクタの場合は、変換 コネクタまたはケーブルをお客様でご用意ください。



画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

ィージーウィザードが Windows NT[®] 4.0**で** ^{利用できないときは} RS-232C**ポートを使うには**

(前ページの続きです)

クする。



🔏 [追加]をクリックする。

INSメイトFT80btを接続したポートに他の モデムがセットアップされている場合は削 除してください。

?[モデム]アイコンをダブルクリッ

これまで、モデムがセットアップされてい なかったときなどは、[モデムのプロパティ] 画面が表示されずに [新しいモデムのイン ストール]画面が表示されますので、手順5 の[新しいモデムのインストール]画面が 表示されたところへ進みます。

デ4007ロハティ ?!× 全般
② このコル コータには、次のモデムがセットアップされています:
モデム
<u>追加(A)</u> <u>)</u> <u>)</u> <u>)</u> <u>)</u> <u>)</u> <u>)</u> <u>)</u> <u>)</u>
[ダイヤルのフロバティ]を使って、ダイヤルの方法を変更しま す。 ダイヤルのフロバティ(D)
閉じる キャンセル



ィージーウィザードが Windows NT[®] 4.0**で** ^{利用できないときは} RS-232C**ポートを使うには**

(前ページの続きです)

Q [utility] フォルダをダブルクリッ ヮイルを見つけま ? × ファイルの場所の @ FT80bt (E:) クして「開く」をクリックする。 ____ Adapter Manual Usb 📄 Dittill Autorun.inf 77(小名(N) 聞<(0) 77/10の種類(の) 中小アッフ 情報(*.ir キャンカル 10[配布ファイルのコピー元]に フロッピー ディスクからインストール 製造元が配布するインストールテ IOK1を外っかしてください。 「UTILITY」の表示があることを確 認し、「OK1をクリックする。 配布ファイルのコピー元(<u>C</u>): **F**¥UTUTY • ◎●照(B) 11 次のいずれかをクリックし、「次 新したモデスのインストー モデムの製造元とモデルを切ったください。モデムが一覧にされい場合、またはインストール ディスかがある場合は、「ディスグ使用」を列ったしてください。 Ð ヘ>1をクリックする。 ご利用になる通信モード(#P30)に合わ モデル(1) せて、モデム定義ファイルを選択してくだ INSZINETBOOT MP さい。 ●同期64 kbit/sのアクセスポイントへ接 2)ティスク使用(日). 続するとき 「INSメイトFT80bt SYNC1 < 戻る(B) キャンセル ●MP128 kbit/sのアクセスポイントへ接 続するとき [INSメイトFT80bt MP]

12 [選択したポート]をクリックし、 モデムを接続するポートの中から、 INSメイトFT80btを接続した ポートをクリックし、[次へ>]を クリックする。

[所在地情報]画面が表示された場合はご使用に合わせて正しく設定し、[次へ>]をクリックしてください。



13 [完了]をクリックする。	新し、時代4000次トル ・ ・ ・ ・ ・ ・	ティュー の ティ
		設定 画面 の
14 [閉じる]をクリックする。 選択したモデム定義ファイルが追加されて いることを確認してください。		通信機能 能
		できないときは ザードが利用
	(なイヤルのフロハライ) を使って、ダイヤルの方法を変更します。 ダイヤルのフロハライ(型) ②	AFコマンド
15 [はい]をクリックする。 INSメイトFT80btを接続したポートにデバ ィスが表示された場合は削除してください。		設定記入
16[追加]をクリックし、手順11で クリックしたモデム定義ファイル をクリックして[OK]をクリック する。	パート 7/b2x セットアック: 区 ホー・トロシ デ・ハ・ロタ デ・ハ・ロタ デ・ハ・ロタ COMI 健康 20200 bps モデム Modern (unimodern) 株計了 イントクーンシュー 株式の キャリクランシュー キャリクランシュー 通道加合」 育卵原(空) 福泉成の二 複製(シ)	バシー ト

(次ページへ続きます)

リ設

ィージーウィザードが Windows NT[®] 4.0**で** ^{利用できないときは} RS-232C**ポートを使うには**

(前ページの続きです)





Mac OS 8.6、9、9.1、9.2 で イージーウィザードが 利用できないときは USBポートを使うには

INSメイトFT80btのUSBポートとパソコンのUSBポートを接続して使うには、 次の手順が必要です。Mac OS 7.6、8.0、8.1、8.5ではUSBをサポートしてい ませんので、USBポートにINSメイトFT80btを接続して使うことはできません。 付属のINSメイトFT80bt専用CD-ROMをご用意ください。 Mac OS Xを利用する場合の設定については、取扱説明書P58をご覧ください。

1 INSネット64回線に接続する(●取扱説明書P33)

INSメイトFT80btとパソコンは指示があるまで接続しないでください。

- 2 USBドライバをインストールする
- 3 CCLファイル(モデム情報ファイル)をインストールする

USB ドライバをインストールする

通い 信ろ 機い パソコンを起動する。 能ろな ▶ INSメイトFT80bt専用CD-ROM をCD-ROMドライブにセットす る。 mmm CD-ROM ♀[FT80bt]アイコンをダブルク リックする。 「FT80bt1アイコンをダブルクリックする 前に、手順4のように画面が表示された場合 FT80bt は、手順4に進みます。 🖊 [USB] フォルダをダブルクリッ FT80bt EE 111 クする。 9 項目、0 KB 空き 6

[USB] 画面が表示されます。



リティ の リティの

) 活テ 用 イ

設定画面 の

ATコマンド

設定記入シー

Mac OS 8.6, 9, 9.1, 9.2 C イージーウィザードが 利用できないときは USBポートを使うには

(前ページの続きです)

- **Қ**[Macintosh HD]アイコンをダ ブルクリックする。
- C[USB]画面の[USB INSMATE FT80bt]を「Macintosh HD] フォルダの中にある「システムフォ ルダ1ヘコピーする。



Macintosh HD



💵 お知らせ

インストールを開始する際、パソコンにINSメイトFT80btを接続しないでください。 接続している場合は、パソコンを起動すると「USB装置"不明装置"を使用するのに必要なソフトウェ アが見つかりません。装置に付属のマニュアルを参照して、必要なソフトウェアをインストールしてく ださい。」と表示されます。この場合は、USBケーブルを外してください。 画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。



(次ページへ続きます)



ィージーウィザードが Mac OS 8.6、9、9.1、9.2で ^{利用できないときは} USB**ポートを使うには**

(前ページの続きです)

11 システム・プロフィール画面の [デバイスとボリューム]をクリッ クする。



12「USB」の右側にある▶通信の▶印 をクリックする。



13 ドライバ名: [USB INSMATE FT80bt] が表示されることを確 認して、ウインドウを閉じる。 以上でインストールは完了です。





💵) お知らせ

付属のCD-ROM内の [CCL] フォルダ内にある [CCLについて] ファイルを必ずお読みください。

ィージーウィザードが Mac OS 8.6、9、9.1、9.2で ^{利用できないときは} USB**ポートを使うには**

(前ページの続きです)

【 CCL]フォルダ内の[INSMATE FT80bt SYNC]と[INSMATE FT80bt MP]を[機能拡張]フォ ルダの中にある[Modem Scripts] フォルダヘコピーする。









イージーウィザードが Mac OSでRS-232Cポートを ^{利用できないときは} 使うには

- 1 INSネット64回線に接続する(*取扱説明書P33)
- 2 RS-232Cポートに接続する INSメイトFT80btとパソコンをRS-232Cケーブルで接続してください。
- 3 CCLファイル(モデム情報ファイル)をインストールする

RS-232Cポートに接続する

1 パソコンの電源を切る。

2 付属ケーブルでINSメイトFT80btのRS-232CポートとパソコンのRS-232Cポートをつなぐ。



RS-232Cポートで接続する場合はER信号制御の設定を 「常時ON」に設定してください。(*マ*P29、33) Macintoshをお使いの場合で、RS-232Cポートに接 続する場合は、変換コネクタまたはケーブルをお客様 でご用意ください。

(次ページへ続きます)

ATコマンド

設定 画面 の

通い信ろ機

能ろな



ケーブルの接続はパソコンの取扱説明書に従って正しく接続してください。 RS-232Cケーブルを接続するときは、コネクタの方向に注意して挿入してください。 Mac OS**で**RS-232C**ポートを** 使うには

(前ページの続きです)

イージーウィザードが 利用できないときは

CCLファイルをインストールする

- 1 パソコンの電源を入れ、INSメイトFT80bt専用CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。
- CD-ROM
- 2 [FT80bt] アイコンをダブルク リックする。 [FT80bt]アイコンをダブルクリックする

前に、手順3のように画面が表示された場合 は、手順3に進みます。

3 CD-ROMの [CCL] フォルダを ダブルクリックする。



FT80bt

4 [Macintosh HD]フォルダの中 にある[システムフォルダ]をダ ブルクリックし、[機能拡張]フォ ルダをダブルクリックする。



💵 お知らせ

付属のCD-ROM内の[CCL]フォルダ内にある[CCLについて]ファイルを必ずお読みください。 画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。



以上でインストールは完了です。







ATコマンド

設定記入シート

ATコマンド

ATコマンドは、米国Hayes社が開発したモデムを制御するコマンドで、多くのモデムで採用されています。INSメイトFT80btは、ATコマンドに準拠しており、さらに拡張コマンドを採用しています。ATコマンドで行う設定の主な項目は、設定ユーティリティをご利用になると簡単に設定することができます。(~ 取扱説明書P68)

ATコマンドの入力方法

通信ソフトウェア(Windows[®] Meのハイパーターミナルなど)を利用して、ATコマンドを入力しま す。また、「AT」と入力することにより、INSメイトFT80btが正しく接続されていることを確認するこ とができます。ATコマンドについては「コマンド形式」(*◆*P140)以降を参照してください。

例 Windows® Meのハイパーターミナルを利用する場合

┃[スタート]をクリックして、[プログラム] [アクセサリ] [通信]の 順にポイントし、[ハイパーターミナル]をクリックします。

「ハイパーターミナル」が表示されます。

お使いのパソコンによっては、手順2の画面が表示されずに[接続の設定]画面が表示されること があります。その場合は手順3に進みます。

2 [Hypertrm]アイコンをダブルクリックしま す。

[接続の設定]画面が表示されます。



3 [名前]に任意の名前を入力し[OK]をクリッ クします。

INSメイトFT80btの設定用の名前を付けて保存すると便利です。



4 [接続方法]にINSメイトFT80btが接続されて いるポートへのダイレクトを選択し、[OK]を クリックします。

例 Com1ポートに接続しているとき...「Com1ヘダイレ クト」

[COM*のプロパティ]画面が表示されます。







ATコマンドとは

ATコマンドとは、データ通信を行うときにINSメイトFT80btに対して設定を命令するためのコマンドです。 Windows[®] XP/Windows[®] 98/Windows[®] 98 Second Edition/Windows[®] Meではハイパーター ミナルが標準で添付されています。ソフトのインストールや設定についての詳細は、ATコマンド用アプリケー ションソフトやパソコンなどの取扱説明書を参照してください。

「OK」と表示されないときは

「OK」と表示されないときは、以下の点を確認してください。

・RS-232CケーブルまたはUSBケーブル INSメイトFT80btとご利用になるパソコンに適合したRS-232CケーブルまたはUSBケーブルを使用して いるか確認してください。

お知らせ 9))))

「ハイパーターミナル」以外の通信ソフトウェアをご利用の場合は、お使いのソフトウェアの説明書など を参照して起動し、ATコマンドを入力してください。 ATコマンド入力についての詳細は、各ソフトウェアメーカ、インターネットサービスプロバイダ、パソ コン通信業者にお問い合わせください。

コマンド形式

ATコマンドは以下の形式で入力します。

A T コマンド CR LF

- 文字は半角を使用してください。
- ATは「at」でもかまいませんが、「At」や「aT」は使用しないでください。
- •コマンドは最大255文字まで入力できます。255文字を超えた場合は、ERRORをパソコンに返します。
- 複数のコマンドを連続して入力することもできます。
- コマンドの中には、コマンドの後ろにパラメータ(n)の必要なものもあります。
- CR(リターンキー)は復帰文字であり、コマンドの区切りを示します。
- LFは省略できます。
- LFは改行文字です。

リザルトコード

送出したコマンドに対して表示されるINSメイトFT80btからの応答結果を、リザルトコードといいます。 表示されるリザルトコードには、数字形式と文字(英字)形式があり、ATVコマンドで選択することが できます。

数字形式

リザルトコード(数字) CR

文字形式

CR LF リザルトコード(文字) CR LF

リザルトコード一覧(**☞**P164)

コマンドモードとデータ通信モード

「コマンドモード」のときは、パソコンから入力した文字はINSメイトFT80btで解釈され、INSメイト FT80btの制御コマンドとみなされます。データ通信モードのときは、実際にデータ通信が行われてい る状態で、パソコンから入力した文字はそのまま通信相手へ送信されます。パソコンから送信したデータ が、INSメイトFT80btを制御するデータなのか、相手に送信するデータなのかを区別するために、これ ら2つのモードが用意されています。INSメイトFT80btは電源を入れた状態では、コマンドモードにな っており、ATDコマンド(発信)でダイヤルしたあと、または着信時にATAコマンドで応答したあとに、 データ通信モードに切り替わります。

データ通信モードから一時的にコマンドモードに切り替えたモードをオンラインコマンドモードと呼び、 そのためのコマンドとしてエスケープシーケンス(+++)があります。

回線を切断するときは、「+++」でオンラインコマンドモードに切り替えたあと、ATHコマンドで切断 します。





リティの活用

設定 画面 の

通い

信ろ機い

能ろな

でザイ



INSメイトFT80btは、パソコンからのER信号がONになると通信可能になります。ER信号をONにでき ないパソコンの場合は、設定ユーティリティまたはAT&Dコマンドで「ER信号を常時ONとみなす」に 設定してください。

ATコマンド一覧

ポート共通

ポート共通設定

デー	データ定義		ATコマンド名称		データ範囲		設定ユーティリ ティでの設定
サブアド 信設定	レスなし着	TEL1ポート TEL2ポート データポート	AT \$ A 6 AT \$ B 6 AT \$ N 6	0	0:許可 1:許可	する しない	あり
機能 サブアドレスなし着信の選択を行います。							
設定例	AT\$A6 =	0			表示例	AT\$A6?	
省略	不可						
グローバル着信設定		TEL1ポート TEL2ポート データポート	AT \$ A5 AT \$ B5 AT \$ N5	0	0:グローバル着信する 1:グローバル着信しない		あり
機能	グローバル	着信の選択を行	示います。				
設定例	AT \$ A5 =	0			表示例	AT \$ A5 ?	
省略	不可						
優先着信ポート指定 AT \$ D3			0	0:指定しない ま 1:TEL1ポート 2:TEL2ポート		あり	
機能	着信時、優	先的に着信する	5ポートの指定で	を行います	•		
設定例	AT \$ D3 = 0				表示例	AT \$ D3 ?	
省略	不可						

三者通話

データ定義		ATコマンド名称	初期値	データ範囲		設定ユーティリ ティでの設定
三者通話設定		AT \$ D5	0	0:使用しない 1:疑似三者通話する 2:三者通話する		あり
機能	三者通話を	使用するかしないかを設定しま	ます。	•		
設定例	AT \$ D5 =	0		表示例 AT \$ D5 ?		
省略	不可					
話者切替	話者切替タイマ設定 AT \$ D8 4			2~9:話者切替までの時間(秒) あり		
機能						
設定例	AT \$ D8 =	= 4 表示例 AT \$ D8 ?				
省略	不可					

リティ の活用

通信中転送

データ定義		ATコマンド名称	初期値	データ範囲		設定ユーティリ ティでの設定			
通信中転	送設定	AT \$ D6	0	0:使用しない 1:使用する		0:使用しない 1:使用する		あり	設定
機能	通信中転送を使用するかしないかを設定します。						面		
設定例	AT \$ D6 =	0		表示例	AT\$D6?				
省略	不可								

着信転送

デー	タ定義	ATIT	ンド名称	初期値	データ範囲	設定ユーティリ ティでの設定	通い 信ろ 機い
着信転送	設定	AT \$ D7		0	0:使用しない 1:疑似着信転送する 2:着信転送する	あり	能ろ な
機能	着信転送を	使用するかしな	いかを設定しま	ます。			
設定例	AT \$ D7 =	0			表示例 AT\$D7?		_ 18 4
省略	不可						でサイ
着信転送	トーキ設定 	AT \$ Z5		0	 0:転送トーキなし、転送元トーキなし、ユーザ情報なし 1:転送トーキあり、転送元トーキなし、ユーザ情報なし 2:転送トーキなし、転送元トーキあり、ユーザ情報あり 3:転送トーキあり、転送元トーキあり、ユーザ情報あり 4:転送トーキなし、転送元トーキあり、ユーザ情報あり 	あり	こないときは ATコマンジーウィ
機能	着信転送時	、トーキを使用]するかしないカ	かを設定し	ます。		۲
設定例	AT\$Z5=	0			│表示例 │ AT \$ Z5 ?		
省略	不可						
転送元電	話番号表示	TEL1ポート TEL2ポート	AT \$ A 1 1 AT \$ B 1 1	0	0 : しない 1 : する	なし	設定
機能	着信転送サービスを利用し転送された場合、転送元電話番号のアナログ通信機器への通知をするか						
	しないかを設定します。						
設定例	AT\$A11=	= 0			表示例 AT\$A11?		1
省略	不可						F

ATコマンド

電話番号設定

デー	タ定義	ATコマンド	名称	初期値	デ	ータ範囲		設定ユーティリ ティでの設定	
契約者回線 転送先電調	器号用着信 番号	AT \$ Y0		なし	電話番号1~	32桁		あり	
機能	契約者回線	番号へ着信時アナロ	コグポート(の着信転送	先電話番号の	登録・消去	・表示を	行います。	
登録例	AT\$Y0=	0312345678	消去例	AT\$Y0	= #	表示例	AT\$Y	0 ?	
省略 不可									
ダイヤル・	イン /	AT\$Y1		なし	電話番号1~	32桁		あり	
i・ナ	ンバー用1								
着信転送统	七電話番号								
機能	ダイヤルイ 去・表示を	ン1または i・ナン。 行います。	バー情報1-	へ着信時ア	' ナログポート	の着信転送	先電話番	号の登録・消	
登録例	AT \$ Y1 =	0312345678	消去例	AT\$Y1	= #	表示例	AT\$Y	1?	
省略	不可						1		
ダイヤル・	イン /	AT\$Y2		なし	電話番号1~	32桁		あり	
i・ナ	ンバー用2								
着信転送统	七電話番号								
機能	ダイヤルイ 去・表示を	ン2または i・ナン。 行います。	バー情報2	へ着信時ア	' ナログポート	の着信転送	先電話霍	号の登録・消	
登録例	AT \$ Y2 =	0312345678	消去例	AT\$Y2	= #	表示例	AT\$Y	2 ?	
省略	不可								
契約者回約 着信転送5	泉番号用 元電話番号	AT \$ Z0		なし	転送元電話 転送元サブフ	昏号1~32 アドレス1~	桁 · 1 9桁	あり	
機能	アナログポ	ートの着信転送元電	話番号お。	よびサブア	ドレスの登録	・消去・表	示を行い	ます。	
登録例	AT\$Z0=03	12345678/1234	消去例	AT\$Z0	= #	表示例	AT\$Z	0?	
省略	不可								
ダイヤル・	イン /	AT \$ Z1		なし	転送元電話習	昏号1~32	桁	あり	
i・ナ	ンバー用1				転送元サブフ	ヮドレス1~	-19桁		
着信転送え	元電話番号								
機能	ダイヤルイ 登録・消去	ン1または i・ナン ・表示を行います。	バー情報1	で着信した とサブアド	ときの着信転 レスの区切り	送元の電調 子は / です	話番号・サ ·	「ブアドレスの	
登録例	AT\$Z1=03	12345678/4567	消去例	AT\$Z1	= #	表示例	AT \$ Z	1?	
省略	不可								
ダイヤル・	インノ	AT\$Z2		なし	転送元雷話者	昏号1~32	桁	あり	
i• +	ンバー用2			0.0	転送元サブフ	マドレス1~	·19桁		
着信転送法	元電話番号								
機能									
登録例	AT\$Z2=03	12345678/8901	消去例	AT\$Z2	= #	表示例	AT\$Z	2?	
省略	不可								
発信者番号通知

データ定義		ATコマンド名称		初期値	データ範囲		設定ユーティリ ティでの設定	
発信者番号通知		TEL1ポート TEL2ポート データポート	ATC1 ATC2 ATC0	2	0:通知 1:通知 2:申込	しない する 内容に従う	あり	
機能	発信時、発番号情報の付加方法について設定				ます。			
設定例 ATC12				表示例	ATC1 ?			
省略	不可							

i・ナンバー

i・ナン	ノバー					通い				
デー	タ定義	ATIT	ンド名称	初期値	データ範囲 設定ユーティリ ティでの設定	 機い 能ろ				
i・ナン	バー	AT\$E0		0	0:使用しない 1:使用する あり	4				
機能	i・ナンバ	ーの設定をしま	き。							
設定例	AT\$E0=	0								
省略	不可									
i・ナンノ	(-電話番号	1	AT\$E1	なし	i・ナンバー情報に対応した あり	でザイ				
		2	AT\$E2		電話番号(1~20桁)	ロレー				
		3	AT\$E3			いが				
機能	i・ナンバ	ー使用時にi・	ナンバー情報	こ対応した	電話番号の登録・消去・表示を行います。	と利ワ き用 1				
設定例	AT\$E1=	031234567	8 消去例	AT\$E1	=# 表示例 AT\$E1?	は				
省略	不可									
発信ポー	ト番号指定	TEL1ポート	AT \$ A 2 1	1	1:i・ナンバー情報1 あり					
		TEL2ポート	AT\$B21	2	2: i・ナンバー情報2	A				
		RS-232Cポート	AT\$L21	1	3: i・ナンバー情報3					
		USBポート	AT\$M21	1		AL				
		Bluetooth™	AT \$ N2 1	1		ン				
機能	i・ナンバ・	ーを利用してい	る場合の発信時	NSネット	64に送出するi・ナンバー情報を指定します。					
設定例	AT\$A21	= 1			表示例 AT\$A21?					
省略	不可									
i・ナンノ	(一着信設定	TEL1ポート	AT\$A22	1	<u> i・ナンバー i・ナンバー i・ナンバー</u> あり	設				
		TEL2ポート	AT\$B22	2	^{設定値} 情報1 情報2 情報3	定				
		RS-232Cポート	AT \$ L2 2	3		入				
		USBポート	AT\$M22	3		シ				
		Bluetooth™	AT \$ N22	3	2 * *					
					3 ×					
					5 ×					
					6 x					
					7					
林族会に	i.+\//		 +、バー桂却!	 - 対応して	有旧り X 有旧个り	-				
気形	1・テノハー有信時、1・テノハー 宿牧に刈心しし有信9 るが ートを設定しま9。									
或正1例 少w	AI\$A22 रूच	- 1			衣小カウ] A I ֆ A ∠ Z ?	-				
目哈	小門									

リティの活用

設定 画 面

ザード ドリヨ

アナログポート

アナログポート各種設定

デー	タ定義	ATIT	ンド名称	初期値	データ範囲	設定ユーティリ ティでの設定		
発信者番	5	TEL1ポート	AT\$A20	なし	電話番号 1~32桁	あり		
登録・消	去・表示	TEL2ポート	AT\$B20					
機能	発信者番号	の登録・消去・	表示を行います	す。	I			
登録例	AT\$A20:	= 03123456	78 消去例	AT\$A2	20# 表示例 AT\$A	20?		
省略	不可							
アナログ	设定	TEL1ポート	AT \$ A28	1	0:使用しない	あり		
		TEL2ポート	AT \$ B28		1:使用する			
機能	アナログポ	ートを使用する	かしないかを記	设定します	- •			
設定例	AT\$A28=	= 0			表示例 AT\$A28?			
省略	不可							
着信する	番号	TEL1ポート	AT#ZAn	なし	n:対地番号(0~7)	あり		
		TEL2ポート	AT#ZBn		着信する番号 1~32桁			
機能	着信する番	号の登録・消去	・表示を行いる	ます。				
登録例	AT#ZAO =	031234567	8 消去例	AT#ZA	O# 表示例 AT#Z/	40 ?		
省略	不可							
サブアド	レス	TEL1ポート	AT#ZA	なし	サブアドレス 1~19桁	あり		
		TEL2ポート	AT#ZB					
機能	サブアドレ	スの登録・消去	・表示を行いる	ます。				
登録例	AT#ZA = 9	9876	消去例	AT#ZA	# 表示例 AT#Z/	٩?		
省略	不可							
受話音量語	調整	TEL1ポート	AT&H1	1	0:小	あり		
		TEL2ポート	AT&H2		1:中			
					2:大			
機能	アナログ電	話機の受話音量	の調整ができる	ます。				
設定例	AT&H1 =	1			表示例 AT&H1?			
省略	不可							
アナログ	ポート設定	TEL1ポート	AT\$A0	なし	AT \$ A0でTEL1ポートの情報	なし		
值表示		TEL2ポート	AT\$B0		を表示します。			
					AT \$ B0でTEL2ポートの情報			
					を表示します。			
接続機器	设定	TEL1ポート	AT\$A1	1	0:電話機1	あり		
		TEL2ポート	AT \$ B1		1:ファクス付き電話機・モデ			
					ム・Lモード対応電話機			
					2:電話機2			
					3:ファクス			
機能	アナログポ	ートの接続機器	を設定します。					
設定例	AT\$A1=	0			表示例 AT\$A1?			
省略	不可							

リティ の活用

デー	タ定義	ATコマ	ンド名称	初期値		データ範囲	設定ユーティリ ティでの設定	設パ 定ソ	
内線呼出	信号設定	TEL1ポート	AT\$A8	1	0:呼出	信号1	あり	画に	
		TEL2ポート	AT\$B8		1:呼出	信号2		山 ノ で	
機能	内線呼出信	号音の選択を行	示います。			Γ		ō	
設定例	AT \$ A 8 =	0			表示例	AT\$A8?			
省略	不可								
発信規制			AT\$A19	0	0:規制	しない	あり	通い	
		IEL2示一下	AI\$B19		1:0発1	言規制 <i>發信</i> 相制		信ろ	
1414 414				+ 7 - 1.4	2:2下線	光后况前		機い	
院形	アナロク通	16 (機 都 から の 2)	ト 緑 光 信 を 規 利	9 9 2 2 1	「てきまり。	AT # A 4 0 2		能らな	
設定1例	AI\$A19:	=0			衣亦例	AI\$A19?			
目哈	小り			4	0. 市炉		± 13		
内脉筬能		AI\$D64		1	0:内線	機能使用しない 機能使用する	ரை		
林裕台的	マナログ通	 信機哭からのは	娘発信お上7ハ	 		1歳肥は用する かしたいかを設定します	-	でザイ	
設定例			がたらのよい		支売する		0	ð Í Í	
省略	⊼可 不可	•			1(1)(1)	/// \$004.		なドシ	
FAX白動	転送設定	AT\$D65		0	0・転送	しない	あり	と利ウ	
	TUNCHANE	111 + 2 0 0			1:転送	する		き用1	
機能	着信応答後 します。	のCNG信号検出	出でTEL1ポー	トからTEL	2ポートへ	の内線転送を行うか行れ	つないかを設定		
設定例	AT\$D65	= 0			表示例	AT\$D65?		А	
省略	不可							Ţ	
フッキン	グ検出時間	AT \$ D73		1	0:短い	(100 ms~500 ms)	あり	AL	
					1:普通	(300 ms~1 000 ms)		ン	
					2:長い	(500 ms~1 500 ms)			
機能	フックボタ	ンを押したとき	きにフッキング	と認識させ	る時間を	設定します。			
設定例	AT \$ D7 3	= 1			表示例	AT\$D73?			
省略	不可							設	
ダイヤル	桁間タイマ	AT \$ D7 4		04	02~15	5:2秒~15秒	あり	定記	
機能	ダイヤル間の間隔時間を設定します。								
設定例	AT\$D74	= 0 4			表示例	AT\$D74?		シ	
省略	不可							-	

(前ページの続きです)

デー	タ定義	ATIT	ンド名称	初期値		データ範囲	設定ユーティリ ティでの設定
ダイヤル	終了識別	AT \$ D75		1	0:ダイ	マル終了手動識別しない	あり
					1:91	?ル終」于動識別する(#) ?ル終了手動識別する(##)	
機能	ダイヤル終	了を手動で行え	るように設定し	します。			
設定例	AT\$D75	= 1			表示例	AT \$ D75 ?	
省略	不可						
メッセー	ッセージあり表示 AT \$ D76			1	0:表示しない あり		
					1:表示	する	
機能	メッセージ	あり情報をラン	,プで表示するカ	かしないか	を設定しま	ます。	
設定例	AT\$D76=	= 1			表示例	AT \$ D76?	
省略	不可						
メッセー	ジあり通知	TEL1ポート	AT\$A29	0	0:しな	11	あり
		TEL2ポート	AT\$B29		1:する		
機能	メッセージ	ログ通信機器	こ通知する	かしないた	かを設定します。		
設定例	AT\$A29=	=0			表示例	AT\$A29?	
省略	不可						

ナンバー・ディスプレイ

デー	タ定義	ATコマンド名称		初期値	データ範囲		設定ユーティリ ティでの設定	
ナンバー	・ディスプ	TEL1ポート	AT \$ A 9	0	0:しな	11	あり	
レイ発信者	皆番号通知	TEL2ポート	AT \$ B 9		1:する			
機能	発信者番号	をアナログ通信	機器に通知する	るかしない	かを設定し	します。		
設定例	AT\$A9=	0			表示例	AT\$A9?		
省略	不可							
ナンバー・	ディスプレイ	TEL1ポート	AT\$A12	0	0:しない	١	なし	
発サブアド	レス付加設定	TEL2ポート	AT\$B12		1:する			
機能	発信者番号	に発サブアドレ	√スが含まれる [↓]	湯合、アナ	ログ通信権	幾器に通知するかしない	かを設定しま	
176 HC	す。							
設定例	AT\$A12	= 0			表示例	AT\$A12?		
省略	不可							

ネーム・ディスプレイ

データ定義		ATコマンド名称		初期値	データ範囲		設定ユーティリ ティでの設定
ネーム・ディスプレイ		TEL1ポート	AT\$A30	0	0:しない		あり
発信者名通知		TEL2ポート	AT\$B30		1:する		
機能	発信者名を	アナログ通信機	として、 とのでする ためでする ためでする	かしないか	を設定しる	ます。	
設定例	AT \$ A30 = 0				表示例	AT\$A30?	
省略	不可						

モデムダイヤルイン

デー	タ定義	ATIT	ンド名称	初期値		データ範囲	設定ユーティリ ティでの設定		
モデムダイ	イヤルイン	TEL1ポート	AT\$A10	0	0:しな	61	あり		
着番号通知	ŧD.	TEL2ポート	AT\$B10		1:する				
機能	着信ダイヤ	着信ダイヤルイン番号をアナログ通信機器に通知するかしないかを設定します。							
設定例	AT\$A10=0 表示例 AT\$A10?								
省略	不可	不可							
モデムダイ	ヤルイン	TEL1ポート	AT\$A13	0	0:しない	1	なし		
着サブアド	ドレス付加設定 TEL2ポート AT \$ B13 1 : する								
機能	着信ダイヤ を設定しま	ルイン番号に着 す。	゙゙サブアドレス <i>1</i>	が含まれた	場合、アコ	ナログ通信機器に	通知するかしないか		
設定例	AT\$A13	= 0			表示例	AT\$A13?			
省略	不可								
モデムダイ	イヤルイン	AT \$ D11		なし	契約者回約	線番号1~20桁	あり		
契約者回編	泉番号								
機能	モデムダイ	ヤルイン時、身	2約者回線番号	で着信し	た場合に送	€出するダイヤル・	イン番号の登録・消		
	去・表示を	行います。							
登録例	AT \$ D11 = 0312345678 消去例 AT \$ D11 = # 表示例 AT \$ D11 ?								
省略	不可								

なりわけ

デー	タ定義	ATIT	ンド名称	初期値	データ範囲	設定ユーティリ ティでの設定		
INSなり	っけ	TEL1ポート TEL2ポート	AT \$ A 1 5 AT \$ B 1 5	0	0:使用しない 1:使用する	あり		
機能	INSなりわ	ナサービスを使	用するかしない	1かを設定	します。			
設定例	AT\$A15	= 0			表示例 AT\$A15?			
省略	不可							
疑似なり	bH	TEL1ポート	AT\$A16	0	0:使用しない	あり		
		TEL2ポート	AT\$B16		1:使用する			
機能	疑似なりわ	疑似なりわけを使用するかしないかを設定します。						
設定例	AT\$A16=0 表示例 AT\$A16?							
省略	不可							
なりわけ	動作設定	TEL1ポート	AT \$ A 1 7	0	0:識別リンギング	あり		
		TEL2ポート	AT\$B17		1:セキュリティ(着信拒否))		
機能	INSなりわ	けまたは疑似な	りわけを使用す	「るときの	動作を設定します。			
設定例	AT\$A17	= 0			表示例 AT\$A17?			
省略	不可							
疑似なり	りけ番号	TEL1ポート	AT&Y1t	なし	t:疑似なりわけ番号(0~9) あり		
		TEL2ポート	AT&Y2t		電話番号 1~32桁			
	サブアドレス 1~19桁							
機能	│疑似なりわけ番号の登録・消去・表示を行います。電話番号とサブアドレスの区切り子は / です]り子は / です。		
設定例	AT&Y10=0312345678/9876 消去例 AT&Y10=# 表示例 AT&Y10?							
省略	不可							

リティの活用

設定画面 の

通信機能 ないろな

できないときは ザードが利用 イージーウィ

キャッチホン・ディスプレイ

デー	タ定義	ATコマンド名称		初期値	データ範囲		設定ユーティリ ティでの設定		
キャッチホン・ディ スプレイ 発信者番号通知		TEL1ポート TEL2ポート	AT \$ A23 AT \$ B23	0	0 : しな 1 : する	11	あり		
機能	発信者番号	をアナログ通信	機器に通知する	るかしない	ふかしないかを設定します。				
設定例	AT\$A23	= 0			表示例 AT \$ A23?				
省略	不可								
キャッチホン・ディ スプレイ 発サプアドレス付加 設定		TEL1ポート TEL2ポート	AT \$ A24 AT \$ B24	0	0 : しな 1 : する	11	なし		
機能	発信者番号に発サプアドレスが含まれる場合、アナログ通信機器に通知するかしないかを設定しま す。								
設定例	AT\$A24	= 0			表示例	AT\$A24?			
省略	不可								

着信拒否

データ定義		ATコマンド名称		初期値	データ範囲			設定ユーティリ ティでの設定
着信拒否		TEL1ポート	AT¥T1/1*	1	0:全て着信拒否する			あり
		TEL2ホート	AT¥T2/1*		1:指定	畨号のみ拒否す	จ	
機能	TEL1、27	パートへの着信	拒否を設定しま	す。				
設定例	AT¥T1/1	* 0			表示例	AT¥T1/1*	?	
省略	不可							
着信拒否	電話番号	TEL1ポート	AT#YAn	なし	n:着信	拒否番号(0~	9)	あり
		TEL2ポート	AT#YBn		電話番号	1~32桁		
機能	着信拒否設	定を「着信拒否	うしない」 にし ⁻	ている場合	、着信拒	否したい電話番	号の登録	・消去・表示
	を行います。							
設定例	AT#YA0 =	031234567	8 消去例	AT#YA	0#	表示例	AT#YA	40?
省略	不可							

キャッチホン

データ定義		ATコマンド名称		初期値		データ範囲	
キャッチホン		TEL1ポート TEL2ポート	AT¥T1/2* AT¥T2/2*	0	0:しない 1:疑似キャッチホン 2:INSキャッチホン		あり
機能	TEL1、27	ポートへのキャ	ッチホンの設定	を行いま	す。		
設定例 AT¥T1/2		* 0			表示例	AT¥T1/2*?	
省略	不可						

ホットライン発信

データ定義		ATコマンド名称		初期値		データ範囲		設定ユーティリ ティでの設定
ホットラ・	イン	TEL1ポート TEL2ポート	AT \$ A 2 5 AT \$ B 2 5	0	0:しな 1:する	11		あり
機能	ホットライ	ン発信を設定し	,ます。					
設定例	AT\$A25=0				表示例	AT\$A25?		
省略	不可							
ホットライ登録・表述	イン番号 示・消去	TEL1ポート TEL2ポート	AT \$ A26 AT \$ B26	なし	電話番号 サブアド	1~32桁 レス 1~19桁	Ī	あり
機能	ホットライ	ン番号の登録・	消去・表示を征	ういます。	電話番号。	ヒサブアドレス	の区切り	子は / です。
設定例	AT\$A26=03	312345678/98	76 消去例	AT\$A2	26 = #	表示例	AT\$A	26?
省略	不可							

FAX無鳴動着信設定

データ定義		ATコマンド名称		初期値	データ範囲		設定ユーティリ ティでの設定
FAX無鳴動着信設定		TEL1ポート TEL2ポート	AT \$ A 2 7 AT \$ B 2 7	0	0:しない 1:する		あり
機能	FAX無鳴動	 着信を設定しま	とす。 こう				-
設定例	AT\$A27=0				表示例	AT\$A27?	
省略	不可						

短縮ダイヤル

データ定義		ATコマンド名称		初期値	データ範囲			設定ユーティリ ティでの設定
アナログ: ダイヤル	ポート短縮	TEL1ポート TEL2ポート	AT&Z1t AT&Z2t	なし	t:短縮番号 電話番号 サブアドレス	(0~9) 1~32 (1~19	斑斑	あり
機能	短縮番号の	登録・消去・表	気示を行います。	電話番号	とサブアドレ	スの区切り	子は / で	す。
設定例	AT&Z10=03	312345678/98	76 消去例	AT&Z1	0 = #	表示例	AT&Z	10?
省略	不可							

データポート

データポート各種設定

データ定義		ATコマンド名称		初期値	データ範囲			設定ユーティリ ティでの設定
発信者番号 登録・消去・表示 (RS-232Cポート)		AT \$ L20		なし	電話番号	番号 1~32桁		あり
機能	RS-232C	ポートの発信者番号	弓の登録・消	肖去・表示を	E行います。			
設定例	AT\$L20=	0312345678	消去例	AT\$L2	0#	表示例	AT\$L	20?
省略	不可							

リティの活用

通信機能

(前ページの続きです)

デー	タ定義	ATコマンド名称	初期値	デ	ータ範囲	設定ユーティリ ティでの設定
発信者番号	弓	AT\$M20	なし	電話番号	1~32桁	あり
登録·消去	・表示					
(USB示-	- F)		+			
機能	USB示一下		表示を行いる	ます。		
設定例	AI\$M20:	=0312345678 泪云例	AI\$M2	20#	表示例 AⅠ\$Ⅳ	120?
自哈	小り		<i>t</i> >1	류년포미	4 0.0**	+ 12
先信百奋 [;] 登録,谐土	5 主一	AI\$N20	40	電話畬亏	1~32桁	めり
(Bluetoo	いない thポート)					
機能	Bluetooth	 ポートの発信者番号の登録・	 消去・表示な	・ 行います。		
設定例	AT \$ N20 =	= 0312345678 消去例	AT \$ N2	20#	表示例 AT\$N	20?
省略	不可	132,03	1		203.03	
着信する	番号 /	AT#ZL : ポート1	なし	電話番号	1~32桁	あり
サブアド	レス	(RS-232C)	-	サブアドレス	く 1~19桁	
		AT#ZM:ポート2				
		(USB)				
		AT#ZN:ポート3				
		(Bluetooth)				
機能	着信する番	号、サブアドレスの登録・消	去・表示を行	います。アド	レスとサブアドレス	の区切り子は/
하다 승규는 (고)	です。	40045070/4004/00	0000440	\ \		
設定1例		312345678/1234 (RS-2 20 2220の担合)	3200場合 ===) (511 AT#71 *		•)
旧女的	지 # Z L # (P 조 可	(3-23200场口)	衣小		(13-23200场口)
<u>目</u> 門 データポ	- ト設定値	ΔΤ¢ΙΟ	かし	AT \$ 1 0 70 P	S 222C#_ F@	t>1.
ラーラホー 表示		AT \$ LU		「「「いい」」「「おんち」」「「おんち」」	います。	140
(RS-232	2C ポート)			In the course		
データポ・		AT\$M0	なし	AT \$ M0でI	JSBポートの情報	なし
表示			-	を表示します		
(USB ポ	- ト)					
データポ・	ート設定値	AT \$ N0	なし	AT\$N0でE	Bluetoothポート	なし
表示				の情報を表示	≂します。	
(Bluetoo	oth ポート)					
無通信監視	見タイマ	AT \$ N9	10	0:監視しな	:61	あり
				1~10(分))	
機能	無通信監視	タイマの設定を行います。 -				
設定例	AT\$N9=	0		表示例 A1	\$N9?	
首略	小可					
」 1997年1月11日 19	११२	AI\$N10	10	0:切断しな <u>1~1</u> 0(時間	にN 間)	கர
機能	強制切断タ	イマの設定を行います。				
設定例	AT\$N10	= 0		表示例 AT	Γ\$N10?	
省略	不可					

データ定義		ATコマンド名称 初期 ⁴		初期値		データ範囲	設定ユーティリ ティでの設定	
通信モー	i信モード AT \$ N11 0 0 : 非同期 / 同期PPP (マル チリンク通信しない) 1 : マルチリンクプロトコル PPP		, なし ,					
機能	マルチリン	マルチリンク通信の選択を行います。						
設定例	AT \$ N 1 1	= 0			表示例 AT\$N11?			
省略	不可							
MUX発信	アドレス	AT\$X0		なし	電話番号	, 0~32桁	あり	
機能	MUX発信フ	7ドレスの登録・消	去・表示を	行います。				
設定例	AT\$X0=0	312345678	消去例	AT\$X0	=#	表示例 AT \$	X0?	
省略	不可							

CTI発信

デー	タ定義	ATコマンド名称	ATコマンド名称 初期値 データ範囲		データ範囲	設定ユーティリ ティでの設定	
CTI呼出和	重別設定	AT \$ N13	1	0:送出し 1:呼出信 2:呼出信	ない 号1 号3	あり	でザイ きーー なドジー
機能	CTI発信時、	アナログ通信機器への呼出種	ি別を設定	します。			いか - と利ウ
登録例	AT \$ N13	= 1		表示例 4	AT \$ N13 ?		き用イ
省略	不可						Г¢
CTI呼出即	寺間設定	AT \$ N14	8	1: 15秒 2: 30秒 3: 45秒 4: 60秒 5: 90秒 6:120秒 7:150秒 8:180秒	9 9 9 9 9 9 9 9	あり	ペトロアンド
機能	CTI発信時、	アナログ通信機器への呼出時	間を設定	します。			
登録例	AT \$ N14	= 1		表示例 4	AT\$N14?		設
省略	不可						定
CTI情報と (出力ポー	出力 · ト設定)	AT \$ D12	9	0:TEL1: 信を出 1:TEL1/ 2:TEL2/ 9:出力し	またはTEL2への着 力する への着信を出力する への着信を出力する ない	あり	記入シート
機能	TEL1、27 データポー	ポートへの着信時、相手の発信 トに表示するよう設定します。	諸番号(発番号、発1	サブアドレス)または	非通知理由を	
設定例	AT \$ D12	= 1		表示例 4	AT \$ D12 ?		
省略	不可						

リティの活用

設定画面 の

通信機能

(前ページの続きです)

デー	タ定義	ATコマンド名称	初期値		データ範囲	設定ユーティリ ティでの設定	
CTI情報と	出力	AT \$ D13	0	0:表示	フォーマット1	あり	
(表示フォー	-マット設定)			1:表示	フォーマット2		
機能	CTI情報出发	カの表示フォーマットを設定し	/ます。				
設定例	AT \$ D13:	= 0		│ 表示例 │ AT \$ D13 ?			
省略	不可						
CTI利用7	ピート設定	AT \$ N15	1	1:ポー	ト1(RS-232C)	あり	
				2:ポー	ト2(USB)		
				3:ポー	F3 (Bluetooth)		
機能	CTI情報出发	カポート及びCTI発信ポートを	設定します	す。			
設定例	AT \$ N15:	= 1		表示例	AT \$ N15 ?		
省略	不可						
CTI発信		AT ! D	なし	アナログ	ポート番号:1または2	なし	
				着番号:	1~32桁		
				着サブア	'ドレス:1~19桁		
機能	ATコマント	「入力により、アナログポート	の発信を行	ううことが	できます。		
	アナログポ	ート番号と着番号の区切り子	は、;(セ	ミコロン)です。		
	着番号と着	サブアドレスの区切り子は、	/ (スラッ	シュ) で	す。		
設定例	AT ! D1 ;	0312345678/9999		表示例	なし		
省略	なし						
CTI発信甲	又り消し	AT ! H	なし	アナログ	ポート番号:1または2	なし	
機能	CTI発信後、	アナログポートに接続したフ	アナログ通	信機器を「	乎び出している間に発信	を取り消すこ	
	とができま	す。					
設定例	AT ! H1			表示例	なし		
省略	なし						

信号線制御

デー	タ定義	ATコマンド名称	初期値	データ範囲	設定ユーティリ	
	-1./Am	4700		a ###+o\\	ティビの設定	≐죠 /パ
CD信号制 (通信中オ	_{河御} ペート)	AT&C	1	0:吊時ON 1:回線接続中ON	なし	定ソ
機能	通信中ポー	トのCD信号制御を設定します	-			置シ
設定例	AT&C0			表示例 AT&C?		での
省略	AT&C 省	略時はAT&C0と同等とします	t.			05
CD信号制	间御	AT&CL	1	0:常時ON	なし	
(RS-232	2Cポート)			1:回線接続中ON		
機能	RS-232C	ポートのCD信号制御を設定し	ます。			通い
設定例	AT&CL0			表示例 AT&CL?		信ろ機い
省略	AT&CL i	省略時はAT&CL0と同等とし	ます。			能ろ
CD信号制	间御	AT&CM	1	0:常時ON	なし	な
(USBポ・	- F)			1:回線接続中ON		
機能	USBポート	<u>-のCD信号制御を設定します。</u>		I		
設定例	AT&CM0			表示例 AT&CM?		
省略	AT&CM	省略時はAT&CM0と同等とし	/ます。			でザイ
CD信号制	间御	AT&CN	1	0:常時ON	なし	きーー
(Bluetoo	othポート)			1:回線接続中ON		いがし
機能	Bluetooth	ポートのCD信号制御を設定し	/ます。			と利ウ
設定例	AT&CN0			表示例 AT&CN?		さ用1
省略	AT&CN	省略時はAT&CN0と同等とし	ます。			104
ER信号制	间御	AT&D	2	0:常時ON	あり	
(通信中ホ	ペート)			2:オンラインモード時OFF		А
				で回線切断		T
機能	通信中ポー	トのER信号制御を設定します	°			
設定例	AT&D0			表示例 AT&D?		シ
省略	AT&D 省	略時はAT&D0と同等とします	す。			Ľ
ER信号制	山御	AT&DL	2	0:常時ON	あり	
(RS-232	2Cポート)			2:オンラインモード時OFF		
				で回線切断		言品
機能	RS-232C	ポートのER信号制御を設定し	ます。			定
設定例	AT&DL0			表示例 AT&DL?		記
省略	AT&DL 4	省略時はAT&DL0と同等とし	ます。			トシ
ER信号制	御	AT&DM	2	0:常時ON	あり	1
(USBポ-	-ト)			2:オンラインモード時OFF		Г
				で回線切断		
機能	USBポート	▶のER信号制御を設定します。				
設定例	AT&DM0			表示例 AT&DM?		
省略	AT&DM	省略時はAT&DM0と同等とし	します。			

リティ の活用

(前ページの続きです)

デー	タ定義	ATコマンド名称	初期値		データ範囲	設定ユーティリ ティでの設定
ER信号制	御	AT&DN	2	0:常時	ON	なし
(Bluetoo	othポート)			2:オン	ラインモード時OFF	
				で回	線切断	
機能	Bluetooth	ポートのER信号制御を設定し	ます。			
設定例	AT&DN0			表示例	AT&DN?	
省略	AT&DN	省略時はAT&DN0と同等とし	ます。			
DR信号制	山御	AT&S 0 0 : 常時ON : 3		なし		
(通信中ホ	(ート)			1:回線	接続中ON	
機能	通信中ポー	トのDR信号制御を設定します	•	-		
設定例	AT&SO			表示例	AT&S?	
省略	AT&S 省略時はAT&S0と同等とします。					
DR信号制	R信号制御 AT&SL 0 0:常時ON		なし			
(RS-232	2Cポート)			1:回線	接続中ON	
機能	RS-232C	ポートのDR信号制御を設定し	ます。			
設定例	AT&SL0			│表示例 │AT&SL?		
省略	AT&SL i	当略AT&SL0と同等とします。				
DR信号制	山御	AT&SM	0	0:常時	ON	なし
(USBポ-	<u>- </u>			1:回線	接続中ON	
機能	USBポート	のDR信号制御を設定します。				
設定例	AT&SM0			表示例	AT&SM?	
省略	AT&SM	省略時はAT&SM0と同等とし	/ます。			
DR信号制	山御	AT&SN	0	0:常時	ON	なし
(Bluetoo	etoothポート)			1:回線	接続中ON	
機能	BluetoothポートのDR信号制御を設定します。					
設定例	AT&SN0			表示例	AT&SN?	
省略	AT&SN	省略時はAT&SN0と同等とし	ます。			

ATコマンド

BOD条件設定

			AT #0 /+		設定ユーティリ	
	ソ正我	AIコマント名称	11月1月1月1月1月1月1月1月1月1月1月1月1月1月1日1月1日1月1日	テーダ範囲	ティでの設定	
リソース	BOD設定	AT \$ M2	0	0:リソースBOD機能を使用	あり	設パ
				しない		価ゴ
				1:発信 / 着信時に使用する		面ン
				2:発信時にのみ使用する		с О
				3:着信時にのみ使用する		
機能	リソースB(OD時のリンク追加 / 削除の対	応方法を言	没定します。		
設定例	AT \$ M2 =	1		表示例 AT\$M2?		
省略	不可					通い
スループ	ットBOD	AT \$ M3	0	0:スループットBOD機能を	あり	信ろ機い
設定				使用しない		能ろ
				1:スループットBOD機能を		な
				使用する		
機能	スループッ	トBODの適用を設定します。				
設定例	AT \$ M3 =	1		表示例 AT\$M3?		
省略	不可					でザイ
スループ	ットBOD	AT \$ M4	30	10~60:10秒~60秒	あり	きー
リンク追加	加算出時間			ただし、10秒単位の設定のみ可		なトン
機能	スループッ	トBOD時のリンク追加算出時	間を設定し	します。		と利ウ
設定例	AT\$M4 =	30		表示例 AT\$M4?		き用イ
省略	不可					Id
スループ	ットBOD	AT \$ M5	10	10~60:10秒~60秒	あり	
リンク削り	除算出時間			ただし、10秒単位の設定のみ可		Δ
機能	スループッ	トBOD時のリンク削除算出時	間を設定し	します。		Ť
設定例	AT \$ M5 =	10		表示例 AT\$M5?		
省略	不可					
スループ	ットBOD	AT \$ M6	70	60~90:60 %~90 %	あり	۲
リンク追加	加しきい値			ただし、10%単位の設定のみ可		
機能	スループッ	トBOD時のリンク追加を行う	しきい値を	を設定します。		
設定例	AT \$ M6 =	70		表示例 AT\$M6?		÷л
省略	不可					設定
スループ	ットBOD	AT\$M7	20	10~40:10 %~40 %	あり	記
リンク削り	除しきい値			ただし、10%単位の設定のみ可		人
機能	スループッ	トBOD時のリンク削除を行う	しきい値を	を設定します。		í
設定例	AT\$M7=	20		表示例 AT\$M7?		F
省略	不可					

リティの活用 設定ユーティ

各種製品情報

デー	タ定義	ATコマンド名称	初期値		データ範囲	設定ユーティリ ティでの設定
製品ID表	示	ATI	なし	3:ROM 4:製品	۸バージョン 名称	あり
機能	装置名称、	ROMバージョンを表示します	°			
設定例	不可			表示例	ATI3	
省略	不可					
リザルト	コード有無	ATQ	0	0:リザ	ルトコードあり	なし
(通信中ボ	(ート)			1:リザ	ルトコードなし	
機能	通信中ポー	トに対しリザルトコードを返す	すか返さな	いかを設め	定します。	
設定例	ATQ0			表示例	ATQ?	
省略	ATQ 省略	時はATQ0と同等とします。				
リザルト	コード有無	ATQL	0	0:リザ	ルトコードあり	なし
(RS-232	2Cポート)			1:リザ	ルトコードなし	
機能	RS-232C	ポートに対しリザルトコードを	E返すか返	さないかる	を設定します。	
設定例	ATQL0			表示例	ATQL?	
省略	ATQL 省	略時はATQL0と同等とします	o			
リザルト	コード有無	ATQM	0	0:リザ	ルトコードあり	なし
(USBポ-	- ト)			1:リザ	ルトコードなし	
機能	USBポート	・ に対しリザルトコードを返す	か返さない	1かを設定	します。	
設定例	ATQM0			表示例	ATQM?	
省略	ATQM 省	i略時はATQM0と同等としま	す。			
リザルト	コード有無	ATQN	0	0:リザ	ルトコードあり	なし
(Bluetoo	thポート)			1:リザ	ルトコードなし	
機能	Bluetooth	ポートに対しリザルトコードマ	を返すか返	さないか	を設定します。	
設定例	ATQN0			表示例	ATQN?	
省略	ATQN 省	略時ATQN0と同等とします。				
リザルト	コード表示	ATV	1	0:数字	形式	なし
形式				1:文字	形式	
(通信中ホ	(ート)					
機能	通信中ポー	トのリザルトコードを数字で	反すか英数	文字で返	すかを設定します。	
設定例	ATV0			表示例	ATV?	
省略	ATV 省略	時はATV0と同等とします。				
リザルト	コード表示	ATVL	1	0:数字	形式	なし
形式				1:文字	形式	
(RS-232	2Cポート)					
機能	機能 RS-232Cポートのリザルトコードを数字で返すか英数文字で返すかを設定します。					
設定例	ATVL0			表示例	ATVL?	
省略	ATVL 省	略時はATVL0と同等とします	0			

	夕宁美	^エココン ドタ物	初期荷		デーク範囲	設定ユーティリ	リティの活用
) —	ソル我	ATコマンド石柳	的知道		リーダ範囲	ティでの設定	
リザルト: 形式 (USBポー	コード表示 - ト)	ATVM	1	0:数字 1:文字	形式 形式	なし	設パ定ソ
機能	USBポート	のリザルトコードを数字で返	すか英数ゞ	マテで返す	かを設定します。		
設定例	ATVM0			表示例	ATVM?		二 で
省略	ATVM 省	略時はATVM0と同等とします	す。				の
リザルト: 形式 (Bluetoc	コード表示 othポート)	ATVN	1	0:数字 1:文字	形式 形式	なし	
他能	Bluetooth	 ポートのリザルトコードを数5	 えで返すか	古数文字:	で返すかを設定します	-	通い
1成肥		<u> </u>	FCKAN	実成文士		0	機い
<u>設</u> 定例 坐較		略時はATVNOと同笑とします	-	衣小別	ATVN		能ろ
目相があたい			。 +\1		=_	± 12	1
系惧迪品	科亚	TEL1ホート:AT¥C1n TEL2ポート:AT¥C2n データポート:AT¥C0n	<i>/</i> 40	n:0:4 1:米	^{気示} 科金情報クリア	עימ	
機能	ポートごと 電源を切る	の通話料金を累積し表示・クリ と情報はなくなります。	リアするこ	とができる	ます。		でザイ きーー
設定例	AT¥C11			表示例	AT¥C10		なドジ
省略	不可						レルト
データ通(表示	言詳細履歴	AT¥H	なし	0:通信 1:前半 2:後半	記録10件分表示 5件分表示 5件分表示	あり	き用イ は
機能	データ通信 電源を切る	」 を記録し表示することができま と情報はなくなります。	ます。				A
設定例	なし			表示例	AT¥H0		Ξ.
省略	不可				I		2
データ通(削除	言詳細履歴	AT%Z	なし	一括削除	1	あり	イド
機能	データ通信	記録を削除します。					
設定例	AT%Z			表示例	なし		÷n
省略	不可						設定
コマンド・	- 覧表示	AT¥S3	なし			なし	記
機能	ATコマント	ドを一覧表示します。					入
設定例	なし			表示例	AT¥S3		í
省略	不可						F
課金情報 (直前の課	表示 【金情報)	TEL1ポート : AT¥Y1 TEL2ポート : AT¥Y2 データポート : AT¥Y0	なし			あり	
機能	直前に行っ		電源を切	ると情報日	はなくなります。		
設定例	なし		2	表示例	AT¥Y0		
省略	不可						

呼制御関連

デー	タ定義	ATコマンド名称	初期値	データ範囲	設定ユーティリ	
关合亡体		A T A	+ >1		ティでの設定	
有信心合		AIA = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	しなし		なし) キーキ	
機能	'RING J 7	表示されているときに本コイ	ントを入り	」して心合し、相手と通信中にない	します。	
設定例				表示例 なし		
省略	个可				1	
RINGレス	、ポンス付	ATW	0	0:RINGのみ	なし	
加情報				2:発番号、発サブアドレス、		
				ユーザデータ		
機能	リザルトコ 「 / _ゝ ユー	ード「RING」の表示のしか ザデータとの区切り子は「+	たを設定し 」です。	Jます。電話番号とサブアドレス	、の区切り子は	
設定例	ATW0			表示例 ATW?		
省略	ATW 省略	各時はATW0と同等とします。		·		
RINGレス	、ポンス回	ATS0	1	0:自動応答しない	なし	
数				1~255 : 自動応答までの		
				RING回数		
機能	自動応答す	るかしないかを設定します。	自動応答す	「る場合は、応答までの「RING」	レスポンス回	
	数を設定し	ます。				
設定例	ATS0 = 12	28		表示例 ATS0 ?		
省略	不可					
ダイヤル	発信	ATD	なし	アドレス 1~32桁	なし	
				サブアドレス 1~18桁		
				ユーサテータ 0~128桁		
機能	発信して相	手を呼び出します。電話番号	とサブアト	ドレスの区切り子は「 / 」、ユーサ	げデータとの区	
	切り子は、	+ 」です。				
設定例	AID0312	234567871234 + ABCDE	:+	表示例 なし		
自略	小り		<i>±</i>		-	
ダイヤル	男発信 古		なし		なし	
機能	直則に発信	した相手を再度呼び出します。				
設定例	AID¥			表示例 なし		
省略	个可		<i>±</i>		-	
切断	マクチレコック	AIH または美信を振るします	なし		なし	
機能	通信を切断	まには有信を拒否します。				
設正1例				表示例 なし		
自略	个可					
「テータ通	信中のコマ	ATO (オー)	なし		なし	
ノトモー	トからテー - ドへ 中才					
ノ地信て			 	ノンコフンドエード性能から、そられ		
悦能		<u> コマノ r(+++)を</u> 八川しにめ(このオンフ	1 ノコマノトモート状態から連信初 「キニタ」 か」	、窓に戻しまり。	
設正1例	AIU रूच			衣示191 なし		
自略	不可					

デー	タ定義	ATコマンド名称	初期値	データ範囲	設定ユーティリ ティでの設定
エコー有語 (通信中ホ	無 ペート)	ATE	1	0:エコーバックなし 1:エコーバックあり	なし
機能	通信中ポー	トに対しエコーバックするか?	雪かを設定	します。	
設定例	ATE0			表示例 ATE?	
省略	ATE 省略	時はATE0と同等とします。			
エコー有語 (RS-23)	 無 2Cポート)	ATEL	1	0:エコーバックなし 1:エコーバックあり	なし
<u>、</u> 機能	RS-232C	<u>,</u> ポートに対しエコーバックする	るか否かを	設定します。	
設定例	ATEL0			表示例 ATEL?	
省略	ATEL 省	略時はATEL0と同等とします。	0		
エコー有語 (USBポ・	 無 ート)	ATEM	1	0:エコーバックなし 1:エコーバックあり	なし
機能	USBポート	∽に対しエコーバックするか否	かを設定し	します。	
設定例	ATEM0			表示例 ATEM?	
省略	ATEM 省	略時はATEM0と同等とします	す。		
エコー有語 (Bluetoo	無 othポート)	ATEN	1	0:エコーバックなし 1:エコーバックあり	なし
機能	Bluetooth	ポートに対しエコーバックする	るか否かを		
設定例	ATEN0			表示例 ATEN?	
省略	ATEN 省	略時はATENOと同等とします	r.		
内線デー	タ発信	ATDn	なし	n:通信相手のデータポート番号 97:RS-232C	なし
				98 : USB 99 : Bluetooth	
機能	指定したデ	ータポートに発信し、内線デー	- 夕通信を	行います。	
設定例	ATD97			表示例 なし	
省略	不可				

リティの活用 設定ユーティ

設定画面

通信機能

できないときは ザードが利用

A F コマンド

設定記入シート

161

初期化

デー	タ定義	ATコマンド名称	初期値		データ範囲	設定ユーティリ ティでの設定
リセット	処理	ATZ98	なし			なし
機能	すべてのパ	ラメータを初期値に戻します。				
設定例	ATZ98			表示例	なし	
省略	不可					
初期値に	戻す	AT&F	なし			あり
機能	短縮ダイヤ ドレス、モ 先番号、着 信履歴、お	ル、発信者番号、i・ナンバー デムダイヤルイン用契約者回約 信転送元番号、着信転送元サ よびカレンダ以外のパラメーク	·電話番号、 線番号、ホ ブアドレフ タを初期値	、各ポー 、ットライ: へ、着信拒 に戻しま ⁻	∽の着信する番号、各ホ ン番号、疑似なりわけ番 否電話番号、MUX発信 す。	ペートのサブア 経ら、着信転送 アドレス、通
設定例	AT&F			表示例	なし	
省略	不可					

設定値保存

デー	タ定義	ATコマンド名称	初期値		データ範囲	設定ユーティリ ティでの設定
設定値保	存	AT\$S	なし			あり
機能	ATコマント	『で設定したパラメータを保存	します。			
設定例	AT\$S			表示例	なし	
省略	不可					

自動速度検出

デー	タ定義	ATコマンド名称	初期値		データ範囲		設定ユーティリ ティでの設定	
自動速度	検出有無	ATU11	1	0:自	国動速度検出しない	١	なし	
				1:6	国地送快山りる			
機能	自動速度検	出の選択を行います。						
自動速度検出有無、自動速度検出無効時固定速度設定実施後に必ず設定値保存(AT \$ S				T\$S)を行っ				
てください。								
	上記実	ここだこい。 上記 実施後に一度、INSメイトFT80btの電源アダプタおよび乾電池を抜いてください。						
設定例	ATU11 =							
省略	不可		│衣小別 ATUTT?					
自動速度構	検出無効時	ATU12	0	0:	9.6 kbit/s		なし	
固定速度	設定			3:	19.2 kbit/s			
				5:	38.4 kbit/s			
				6:	57.6 kbit/s			
				7:	115.2 kbit/s			
				8:	230.4 kbit/s			
機能	自動速度検	 出無効時に、INSメイトFT80	btとパソ	コン間の	の通信速度を設定	します。	1	
設定例	ATU12 =	7			表示例	ATU1:	2 ?	
省略	不可				·	•		

リティの活用

カレンダ設定

デー	タ定義	ATIT	ンド名称	初期値	デ・	-夕範囲		設定ユーティリ ティでの設定	
カレンダ	設定	AT%D	年:2001 月:01 日:01 時:00 分:00	0	年:2001~ 月:01~12 日:01~31 時:00~23 分:00~55	2099 2 1 3 9		あり	設定画面での
機能	カレンダ設	定を行います。	年、月、日、間	時、分の区	切り子は / で	す。			
設定例	AT%D = 20	01/12/31/2	3/59(20014	₹12月31日	323時59分)	表示例	AT%D	?	
省略	不可								通い
液晶ディ	ィスプレイ表	示モード設定							信ろ 機い 能ろ
海島ディ	フプレイ				○・表示する			たし.	1

液晶ディ. 表示モー	スプレイ ド設定	AT \$ D7 0	0	0 : 表示 1 : プラ 2 : 表示	する イベート表示 しない	なし	7,	1
機能	液晶ディス	プレイの表示モードを設定し	ます。					
設定例	AT\$D70	= 0		表示例	AT \$ D70 ?		でザ	1
省略	不可				•		きしかド	ミジ
							に いが と 利 さ 月 は	1ウイ



お知らせ

ATU11コマンドとATU12コマンドは、AT\$Sコマンド実行後、電源アダプタおよび乾電池を抜いて、 再度、電源アダプタを電源コンセントに差し込み、乾電池を入れることにより有効となります。

リザルトコード一覧

データ定義	ATコマンド名称	初期値
0	ОК	コマンド正常終了
1	CONNECT	通信相手との接続完了
2	RING	着信通知
2	NO CARRIER	回線切断 / 接続不可
3	DELAYED	不正ダイヤル
4	ERROR	不正コマンド
7	BUSY	相手通信中
8	ER OFF	ER信号OFFでATDコマンドを実行 ER信号OFFでATAによる着信応答実行

設定記入シート

保守のための資料として、設定内容を記入し大切に保管してください。 下線はお買い求め時の設定です。



設定記入シート

)

TEL1ポート設定

・発信・着信1

発信者番号(

着信する番号

		着信する番号				着信する	る番号
0				4			
1				5			
2				6			
3				7			
サフ	ブアドレス	()				
発信	诸番号通知		発信者都	昏号通知	する	į	発信者番号通知しない
			<u>INSネッ</u>	レト64F	申込内容に従る	<u>5</u>	
サフ	ブアドレスな	し着信選択	着信する	5		3	着信しない
グロ	コーバル着信	選択	<u>着信する</u>	5		3	着信しない
・発信・	着信2						
接続	機器	──接続しない	電話機1	ファクフ	<u> ス付き電話機・</u>	モデム・	Lモード対応電話機
		電話機2	ファクス	ζ. į			
発信	詞制	規制しない	0発信規	制	外線発信	規制	
ホッ	・ トライン	<u>しない</u>	する				
		相手先名		電話番	号		サブアドレス
ホット	ライン番号						

・キャッチホン・番号通知

キャッチホン	使用しない	疑似キャッチホン	INSキャッチホン
ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知	しない	する	
キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知	しない	する	
ネーム・ディスプレイ発信者名通知	しない	する	
モデムダイヤルイン着信電話番号通知	しない	する	
メッセージあり情報通知(Lモード関連)	しない	する	
メッセージあり情報通知電話番号(Lモード関連) ()	

リティ の活用 ・なりわけ INSなりわけ <u>しない</u> する 疑似なりわけ しない する 没 定 画 面 の 疑似なりわけ番号 電話番号 サブアドレス 相手先名 0 1 2 3 通信機能 4 5 6 7 8 9 できないときは ザードが利用 なりわけ動作設定 識別リンギング セキュリティ(着信拒否) ・その他 しない する FAX無鳴動着信 中 受話音量調整 小 大 一一 呼出信号2 内線呼出信号設定 呼出信号1 ・短縮ダイヤル ATコマンド 相手先名 電話番号 サブアドレス 0 1 2 3 4 設定記入シート 5 6 7 8 9

・着信推 着信 電話	空否 「拒否 <u>指定番</u> 「番号	号のみ拒否する	É	全て着信拒否 [・]	する
	相手先名	電	話番号		
0					
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
T ・発信・ 発信	EL2 ポート設定 ^{着信1} 諸番号 ()			
有信	する番号				
	する番号 着信する番 ⁴	-			着信する番号
看1 0	する番号 着信する番 ^日	킁	4		着信する番号
有1m 0 1	する番号 着信する番 ⁴	3	4		着信する番号
有1m 0 1 2	する	3	4 5 6		着信する番号
有1m 0 1 2 3	する番号 着信する番 ⁴	7	4 5 6 7		着信する番号
看に 0 1 2 3 サラ 発信	する 着信する 番信する 番号 で ドレス (清番号 通知	号 発信者番号通 INSネット64	4 5 6 7 い つする 申込内	 容に従う	着信する番号 発信者番号通知しない
有に 0 1 2 3 サフ 発信	する 着信する 番信する 番 「 で ドレス (活 番 号 通知 「 ア ドレスなし 着信する 番 号 通知	号 発信者番号通 <u>INSネット64</u> 着信する	4 5 6 7 い 可する 申込内	<u>客に従う</u>	<u>着信する番号</u> 発信者番号通知しない 者信しない
有に 0 1 2 3 サフ だ に	する番号 着信する番 ⁴ 7アドレス (活者番号通知 7アドレスなし着信選択 1ーバル着信選択	<u>発信者番号通</u> <u>INSネット64</u> <u>着信する</u> <u>着信する</u>	4 5 6 7 い 可する 申込内	<u>客に従う</u>	<u>着信する番号</u> 発信者番号通知しない 着信しない 着信しない
相に 0 1 2 3 サフ信 ・ 発信・	する番号 着信する番号 アドレス (活者番号通知 プアドレスなし着信選択 コーバル着信選択 着信2	号 発信者番号通 <u>INSネット64</u> <u>着信する</u> 着信する	4 5 6 7) 1 する 申込内:	<u>客に従う</u>	<u>着信する番号</u> 発信者番号通知しない 着信しない 着信しない
有 0 1 2 3 サフ 信 ・ 発信 続	する番号 着信する番号 アドレス (活番号通知 ゲアドレスなし着信選択 ローバル着信選択 着信2 読機器 []接続しない 置話機2	号 発信者番号通 <u>INSネット64</u> <u>着信する</u> 電話機1 ユ ファクス	4 5 6 7) 印する 申込内	容 に 従う 付き 電話機・	着信する番号 第信者番号通知しない 着信しない 着信しない モデム・Lモード対応電話機
相 0 1 2 3 サプ 信 線 発 倍 線	する番号 着信する番号 アドレス (活者番号通知 プアドレスなし着信選択 ローバル着信選択 着信2 読機器 □接続しない 電話機2 規制 規制しない	号 発信者番号通 <u>INSネット64</u> 着信する 着信する で話機1 <u>こ</u> ファクス 0発信規制	4 5 7) 印する 申込内	容 に 従う 付き 電話機・	<u>着信する番号</u> 発信者番号通知しない 着信しない 着信しない 者信しない
有 0 1 2 3 サプ 信 接 続 代 ッ プ 信 を 勝 代	する番号 着信する番号 グアドレス (活番号通知 グアドレスなし着信選択 1ーバル着信選択 着信2 読機器 □接続しない 電話機2 読機制 <u>規制しない</u> トライン <u>しない</u>	号 発信者番号通道 INSネット64 着信する 電話機1 2 ファクス 0発信規制 する	4 5 6 7) 印する 申込内	<u>容に従う</u> 付き電話機・ 外線発信規制	着信する番号 発信者番号通知しない 着信しない 着信しない モデム・Lモード対応電話機
相 0 1 2 3 サプロ ・ 発信 続 発作 た 次 に 長 続	する番号 着信する番号 プアドレス (話者番号通知 パアドレスなし着信選択 コーバル着信選択 着信2 読機器 [接続しない] 電話機2 読機制 <u>規制しない</u> トライン <u>しない</u> 相手先名	発信者番号通: <u>INSネット64</u> 着信する 電話機1 <u>2</u> ファクス 0発信規制 する	4 5 6 7) 印する 申込内 ? アクス 電話番	容に従う 付き電話機・ 外線発信規制 号	着信する番号 発信者番号通知しない 着信しない 着信しない モデム・Lモード対応電話機 サブアドレス
1 0 1 2 3 ブ信 グビ ・発信 グビ ・発信 グビ ・	する番号 着信する番号	号 発信者番号通 <u>INSネット64</u> <u>着信する</u> 電話機1 2 ファクス 0発信規制 する	4 5 6 7) 印する 申込内 : でクス	<u>容に従う</u> 付き電話機・ 外線発信規制 号	着信する番号 労信者番号通知しない 着信しない 老信しない モデム・Lモード対応電話機 サブアドレス

				リティの活用
・キャッチホン・番号通知				
キャッチホン	使用しない	疑似キャッチホン	INSキャッチホン	
ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知	しない	する		±⊓. 1°
キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知	しない	する		設入定ソ
ネーム・ディスプレイ発信者名通知	しない	する		画し
モデムダイヤルイン着信電話番号通知	しない	する		山 ノ で
メッセージあり情報通知(Lモード関連)	しない	する		Ő
メッセージあり情報通知電話番号(Lモード関連)(_)		

・なりわけ

INSなりわけ	<u>しない</u>	する
疑似なりわけ	<u>しない</u>	する

疑似なりわけ番号

	相手先名	電話番号	サブアドレス
0			
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			

なりわけ動作設定

<u>識別リンギング</u> セキュリティ(着信拒否)

・その他

FAX無鳴動着信	<u>しない</u>	する	
受話音量調整	小	<u>中</u>	大
内線呼出信号設定	呼出信号1	呼出信号2	

通信機能

できないときは ザードが利用 イージーウィ

ATコマンド

設定記入シート

	相手先名	電話番号	サブアドレス
三百 三百 言拒召 舌番号	5 指定番 5		雪する
· 拒否 信拒召 話番号	명 指定番号 	<u></u>	 雪する
↓ 拒否 信拒? 話番号	5 <u>指定番</u> 북 글 相手先名	<u>号のみ拒否する</u> 全て着信拒否 電話番号	<u></u> 至する
上 拒否 信拒? 話番号	5. <u>指定番^日</u> 号 相手先名	<u>号のみ拒否する</u> 全て着信拒否 電話番号	
	5 指定番号 号 相手先名	<u>号のみ拒否する</u> 全て着信拒召 電話番号	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
	또 <u>指定番</u> 록 를 相手先名	<u>号のみ拒否する</u> 全て着信拒召 電話番号	至する
	도 <u>指定番</u> 록 号 相手先名	<u>号のみ拒否する</u> 全て着信拒召 電話番号	雪する
	또 <u>指定番</u> 号 러 相手先名	<u>号のみ拒否する</u> 全て着信拒否 電話番号	5する
	5 <u>指定番</u> 号 相手先名	<u>号のみ拒否する</u> 全て着信拒否 電話番号	至する
	5 指定番 号 相手先名	<u>号のみ拒否する</u> 全て着信拒否 電話番号	5する
	5 指定番号 号 相手先名	<u>号のみ拒否する</u> 全て着信拒否 電話番号	5する

TEL1・TEL2 ポート共通設定					
・三者通話・通話中転送					
三者通話	使用しない	疑似三者通話する	三者通話する		
話者切替タイマ	()秒	<u>4秒</u>			
通信中転送	使用しない	使用する			
・着信転送					
着信転送	<u>使用しない</u>	疑似着信転送する	着信転送する		
着信転送トーキ設定	転送トーキなし、	転送元トーキなし、	<u>ユーザ情報なし</u>		
	転送トーキあり、	転送元トーキなし、	ユーザ情報なし		
	転送トーキなし、	転送元トーキあり、	ユーザ情報あり		
	転送トーキあり、	転送元トーキあり、	ユーザ情報あり		

・着信転送 転送元・転送先番号設定

	転送元電話番号	転送元サブアドレス	相手先名	転送元電話番号
契約者回線番号用				
ダイヤルイン i・ナンバー用1				
ダイヤルイン i・ナンバー田2				

転送トーキなし、転送元トーキなし、ユーザ情報あり

・その他

•

優先着信ポート指定	指定しない	TEL1ポート	TEL2ポート
FAX自動転送	しない	する	
フッキング検出タイマ	短い	普通	長い
内線機能	使用しない	使用する	
ダイヤル終了識別	しない	する(#)	する(##)
ダイヤル桁間タイマ	()秒	4秒	
モデムダイヤルイン用契約	的者回線番号	()
メッセージ表示 (Lモード関	連)		
MSGランプ設定(Lモー	ド関連)	<u>メッセージあり</u>)状態表示をする
		メッセージあり)状態表示をしない

通信機能

リティの活用

設定記入シート

データポート設定 ・発信・着信 RS-232Cポート 発信者番号) (着信する番号) (サブアドレス) (USBポート 発信者番号 () 着信する番号 () サブアドレス () Bluetooth 発信する番号) (着信する番号 () サブアドレス () MUX発信アドレス 1) 発信者番号通知 発信者番号通知する 発信者番号通知しない INSネット64申込内容に従う サブアドレスなし着信選択 着信しない 着信する グローバル着信選択 着信する 着信しない BOD機能 リソースBOD 使用しない 発信 / 着信時に使用する 発信時に使用する 着信時に使用する スループットBOD 使用しない 使用する リンク追加 算出時間)秒 30秒 (しきい値 ()% 70 % リンク削除)秒 10秒 算出時間 (しきい値 ()% 20 % ・CTI機能 CTI情報出力 出力しない TEL1への着信を出力する TEL2への着信を出力する TEL1またはTEL2への着信を出力する CTI利用ポート RS-232C Bluetooth USB CTI情報表示フォーマット フォーマット1 フォーマット2 CTI発信 CTI呼出種別設定 送出しない 呼出信号1 呼出信号3 CTI呼出時間設定 ()秒 180秒 ・その他 ER信号制御 RS-232Cポート パソコンのER信号を監視する 常時ON USBポート パソコンのER信号を監視する 常時ON パソコンのER信号を監視する 常時ON Bluetooth 尚制切断タイマ) 時間 10時間 (

無通信監視タイマ

(

)分

10分